

## 第 2 回計画部会議題関係統計資料

### <健康づくり関係>

- ・ 母子保健に係る現状把握のための指標例 . . . p. 1
- ・ 薬物依存症患者の状況 . . . p. 3

### <がん関係>

- ・ がんの医療提供体制構築に係る現状把握のための指標 . . . p. 5

### <脳卒中関係>

- ・ 脳卒中の医療提供体制構築に係る現状把握のための指標 . . . p. 11

### <心筋梗塞等の心血管疾患関係>

- ・ 心筋梗塞等の心血管疾患の医療提供体制構築に係る現状把握のための指標 . . . p. 15

### <糖尿病関係>

- ・ 糖尿病の医療提供体制構築に係る現状把握のための指標 . . . p. 19

### <精神疾患及び認知症関係>

- ・ 精神疾患及び認知症の医療提供体制構築に係る現状把握のための指標 . . . p. 21

### <難病、原爆被爆者、移植対策等関係>

- ・ 難病、原爆被爆者、移植対策等に係る現状把握のための指標 . . . p. 25

母子保健に係る現状把握のための指標例

項目	指標名	全国	京都府	調査名等	調査年 (調査周期)	定義	
人口動態	出生	年次別出生数	811,622	15,818	人口動態調査(出生)	令和3年 (毎年)	出生数÷人口×1000
		率(人口千対)	6.6	6.3	[上巻] 都道府県別にみた年次別出生数・出生率(人口千対)		
	乳児死亡	年次別死亡数	1,399	18	人口動態調査(乳児死亡)	令和3年 (毎年)	乳児死亡数÷出生数×1000
		率(人口千対)	1.7	1.1	[上巻] 都道府県別にみた年次別乳児死亡数・死亡率(出生千対)		
	新生児死亡	年次別死亡数	658	8	人口動態調査(乳児死亡)	令和3年 (毎年)	新生児死亡数÷出生数×1000
		率(人口千対)	0.8	0.5	[中巻] 乳児(1歳未満)死亡数及び新生児(生後4週未満)死亡数、市部一郡部一都道府県(特別区一指定都市再掲)・死亡月・性別		
	死産	年次別死産数	16,277	316	人口動態調査(死産)	令和3年 (毎年)	死産数(自然死産+人口死産)÷出産数×1000
		率(出産千対)	19.7	19.6	[上巻] 都道府県別にみた年次別死産数・死産率(出産千対)・自然死産数・自然死産率(出産千対)・人工死産数・人工死産率(出産千対)		
	周産期死亡	年次別死亡数	2741	56	人口動態調査(周産期)	令和3年 (毎年)	(妊娠22週以後の死産+早期新生児死亡数)÷出産数×1000
		率(出産千対)	3.4	3.5	[上巻] 都道府県別にみた年次別妊娠22週以後の死産-早期新生児死亡別周産期死亡数・死亡率(出産-出生千対)		
妊産婦死亡	年次死亡数	21	0	人口動態調査(死亡)	令和3年 (毎年)	妊産婦死亡数※÷出産数×100,000 =[妊産婦死亡数÷(出生数+死産数)]×100,000 ※妊娠中及び産後42日以内の産科的死亡のこと	
	率(出産10万対)	2.5	—	[上巻] 都道府県別にみた年次別妊産婦死亡数及び死亡率(出産10万対)			
合計特殊出生率	率	1.3	1.22	人口動態調査	令和3年 (毎年)	母の年齢15~49歳の各歳における出生率の合計	
平均出産年齢	総数【歳】	32.2	32.5	人口動態調査(出生)	令和3年 (毎年)	総数は第4子以上が含まれた平均年齢	
	第1子【歳】	30.9	31.1	[上巻] 出生順位別にみた都道府県(特別区一指定都市再掲)別父母の平均年齢			
2500g未満出生数	年次別出生数	76,060	1,400	人口動態調査(出生)	令和3年 (毎年)	出生児体重2500g未満の児÷出生数×100	
	出生割合【%】	9.4	8.9	[上巻] 性別にみた都道府県(特別区一指定都市再掲)別出生時の平均体重・2500g未満の出生数及び割合			
妊娠中絶	人工妊娠中絶実施率	全年齢の実施率	5.1	4.1	衛生行政報告例(第9章 母体保護)	令和3年 (毎年)	分母に15~49歳の女子人口を用い、分子に50歳以上の数字を除いた「人工妊娠中絶件数」を用いて計算
		20歳未満の実施率	3.3	2.9	第7表 人工妊娠中絶実施率(女子人口千対)、年齢階級・都道府県別		
	10代の人工妊娠中絶件数	10歳代の中絶件数	9,093	168	衛生行政報告例(第9章 母体保護)	令和3年 (毎年)	各年齢の中絶件数の集計値
15歳以下の中絶件数		371	11	第6表 人工妊娠中絶件数、年齢階級・都道府県別			
子育ての満足度	この地域で子育てをしたいと思う親の割合	3つの健診の平均値	95.3%	92.3%	母子保健実施状況調査 (様式2)乳幼児健康診査必須問診項目 指標8	令和3年 (毎年)	「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と回答した親の割合(無回答者を分母から除いて集計)
		3・4か月児健診時	95.0%	91.2%			
		1歳6か月健診時	95.3%	92.5%			
		3歳児健診時	95.6%	92.3%			
	ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合	3・4か月児健診時	89.3%	88.6%	母子保健実施状況調査 (様式2)乳幼児健康診査必須問診項目 指標11	令和3年 (毎年)	「はい」と回答した親の割合(無回答者を分母から除いて集計)
		1歳6か月健診時	81.0%	80.7%			
3歳児健診時		75.7%	75.7%				
こどもに対して育てにくさを感じた時に対処できる親の割合	3つの健診の平均値	80.9%	81.6%	母子保健実施状況調査 (様式2)乳幼児健康診査必須問診項目 指標12	令和3年 (毎年)	こどもに対して育てにくさを感じると回答した親のうち、相談先や回答先を知っていると回答した親の割合	
	3・4か月児健診時	81.3%	80.9%				
	1歳6か月健診時	79.3%	80.2%				
健康行動	妊娠11週以内での妊娠の届出率	11週以内の届出率	94.8%	95.2%	地域保健・健康増進事業報告(地域保健編)市区町村編 (地域保健編)第4表 市区町村への妊娠届出者数、市区町村、妊娠週(月)数別	令和3年 (毎年)	妊娠11週以内の届出者数÷届出総数×100
	女性のやせ(BMI18.5未満)の者の割合	20代のやせの割合	20.7%(参考値)	19.6%	平成28年国民健康・栄養調査	平成28年	全国:身体状況調査(実測値)の身長・体重からBMIを算出 府:生活状況調査(自記式)の身長・体重からBMIを算出
		30代のやせの割合	16.8%(参考値)	21.8%			
	妊婦の飲酒率	妊娠中の飲酒率	0.9%	1.0%	母子保健実施状況調査 (様式2)乳幼児健康診査必須問診項目 指標4	令和3年 (毎年)	3・4か月児健診時に妊娠中に飲酒していたと回答した母親の割合(無回答者を除く)
	妊婦及びパートナーの喫煙率	妊娠中の喫煙率	1.9%	2.1%	母子保健実施状況調査 (様式2)乳幼児健康診査必須問診項目 指標2.3	令和3年 (毎年)	3・4か月児健診時に妊娠中及び現在喫煙していると回答した父母の割合(無回答者を除く)
		産婦(3・4か月児健診時)	3.5%	3.6%			
	父(3・4か月健診時)	30.6%	42.2%				
	かかりつけ医を持つこどもの割合	3歳児健診時	89.6%	89.3%	母子保健実施状況調査 (様式2)乳幼児健康診査問診項目	令和3年 (毎年)	3歳児健診時の問診票でかかりつけ医がいると回答したこどもの割合(無回答者を分母から除いて集計)
		3歳児健診時(歯科)	52.7%	45.6%			
	こどものやせの状況	幼稚園5歳(男児)	0.3%	0.8%	学校保健統計調査 7 都道府県別 瘦身傾向児の出現率(9-4),(9-7)	令和3年 (毎年)	瘦身傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が-20%以下のものである。 肥満度=(実測体重-身長別標準体重)/身長別標準体重 × 100 (%)
		幼稚園5歳(女児)	0.4%	0.5%			
		小学校11歳(男児)	2.8%	4.8%			
		小学校11歳(女児)	2.2%	2.7%			
		中学校14歳(男児)	2.6%	3.4%			
		中学校14歳(女児)	2.6%	4.0%			
		高等学校17歳(男児)	3.1%	2.8%			
		高等学校17歳(女児)	2.2%	3.3%			
こどもの肥満の状況	幼稚園5歳(男児)	3.6%	2.4%	学校保健統計調査 6 都道府県別 肥満傾向児の出現率(12-5),(12-9)	令和3年 (毎年)	肥満傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が20%以上の者である。 肥満度=(実測体重-身長別標準体重)/身長別標準体重 × 100(%)	
	幼稚園5歳(女児)	3.7%	2.8%				
	小学校11歳(男児)	12.5%	8.8%				
	小学校11歳(女児)	9.4%	5.7%				
	中学校14歳(男児)	10.3%	9.0%				
	中学校14歳(女児)	7.8%	6.8%				
	高等学校17歳(男児)	10.9%	7.6%				
	高等学校17歳(女児)	7.1%	5.2%				

項目	指標名	全国	京都府	調査名等	調査年 (調査周期)	定義			
妊産婦支援 子育て支援 実施状況	産後ケア利用率	利用者数(実人数)	—	271	母子保健衛生費補助金実績報告 様式3-1「妊娠・出産包括支援事業」の事後評価 (京都市を除く参考値)	令和3年 (毎年)	実利用者数の集計数		
		利用率	—	3.8%			実利用者数÷出生数×100		
		うち宿泊型利用者数	—	62			実利用者数の集計数		
		うち宿泊型利用率	—	0.9%			実利用者数÷出生数×100		
		うちデイサービス型利用者数	—	73			実利用者数の集計数		
		うちデイサービス型利用率	—	1.0%			実利用者数÷出生数×100		
		うちアウトリーチ型利用者数	—	136			実利用者数の集計数		
		うちアウトリーチ型利用率	—	1.9%			実利用者数÷出生数×100		
	市町村における妊婦訪問実施状況	訪問実人数	34,317	3,083	地域保健・健康増進事業報告 (地域保健編)第11表 市区町村が実施した妊産婦及び乳幼児等訪問指導の被指導実人員-延人員・医療機関等へ委託した被指導実人員-延人員・乳児家庭全戸訪問事業を併せて実施した被指導実人員、都道府県-指定都市・特別区-中核市-その他政令市、対象区分別	令和3年 (毎年)	妊婦訪問実人数÷妊娠届出数×100		
		訪問割合	4.1%	19.0%			産婦訪問実人数÷出生数×100		
	市町村における産婦訪問実施状況	訪問実人数	635,775	5,785			新生児(未熟児を除く。)訪問実人数÷出生数×100		
		訪問割合	78.3%	36.6%					
	市町村における新生児訪問状況(未熟児を除く。)	訪問実人数	185,619	1,540			乳児(新生児・未熟児を除く。)訪問実人数÷出生数×100		
		訪問割合	22.9%	9.7%					
	市町村における乳児訪問状況(新生児、未熟児を除く。)	訪問実人数	513,659	5,325			未熟児訪問訪問実人数÷出生時2,500g未満の児の数×100		
		訪問割合	63.3%	33.7%					
	市町村における未熟児訪問状況	訪問実人数	40,468	542			各事業実績の集計値		
		訪問割合	53.2%	38.7%					
	乳児家庭全戸訪問事業実施状況	訪問件数	—	14,394			子ども子育て支援交付金実績報告書	令和3年 (毎年)	
	養育支援訪問事業実施状況	育児・家事援助件数	—	2,642					
専門的相談支援件数		—	7,386						
助産師による訪問支援件数		—	0						
乳幼児健康診査受診率	乳児3～5か月	95.5%	98.0%	地域保健・健康増進事業報告 (地域保健編)第5表 市区町村が実施した妊産婦及び乳幼児の健康診査受診実人員-延人員・医療機関等へ委託した受診実人員-延人員、都道府県-指定都市・特別区-中核市-その他政令市、対象区分別			令和3年 (毎年)	受診率=(一般健康診査受診実人員/健康診査対象人員)×100(計数が不詳の市区町村を除いた値)	
	乳児6～8か月	84.9%	97.4%						
	乳児9～12か月	85.8%	97.1%						
	1歳6か月	95.2%	97.0%						
	3歳	94.6%	96.0%						
虐待未然防止	児童相談所における児童虐待相談受付件数	209,395	2,576	福祉行政報告例(児童) 第5表 児童相談所における受付件数、都道府県-指定都市-中核市×相談の種類別			令和3年 (毎年)	児童福祉相談所における児童虐待相談受付件数	
	要対協における要保護児童数(非行や障害など、虐待以外の要保護児童を含む)	—	3,617	令和2年度市町村(虐待対応窓口等)の状況調査	令和2年	※京都市を除いた参考値			

薬物依存症患者の状況(令和2年NDBデータ※)

単位:人

都道府 県名	精神入院患 者数	精神外来患 者数	精神総患者 数	一般入院患 者数	一般外来患 者数	一般総患者 数	総入院患者 数	総外来患者 数	総患者数	算定年度
全国	2924	13451	15106	3306	6937	9709	6130	19128	23254	2020
京都府	50	342	369	61	230	284	109	523	597	2020

※令和5年5月23日 国立精神・神経医療研究センターHP 精神保健福祉資料

「良質な精神保健医療福祉の提供体制構築を目指したモニタリング研究」研究班NDB集計結果

<https://www.ncnp.go.jp/nimh/seisaku/data/>



がんの医療提供体制構築に係る現状把握のための指標

病期	指標名	人口(千人)	全国	京都府	二次医療圏						調査名等	調査年 (調査周期)	定義
					丹後	中丹	南丹	京都・乙訓	山城北	山城南			
予防 治療	禁煙外来を行っている医療機関数	禁煙外来を行っている一般診療所数	13,564	282	-	-	-	-	-	-	医療施設静態 調査	令和2年 (3年毎)	病院票(18)専門外来 禁煙外来で、「有」の施設数
		人口10万人対	10.7	10.8	-	-	-	-	-	-			一般診療所票(17)専門外来 禁煙外来で、「有」の施設 数
		禁煙外来を行っている病院数	2,594	62	-	-	-	-	-	-			
		人口10万人対	2.0	2.4	-	-	-	-	-	-			
予防	敷地内禁煙をしている医療機関の割合	敷地内禁煙をしている一般診療所の割合(%)	82.8	82.0	-	-	-	-	-	医療施設静態 調査	令和2年 (3年毎)	敷地内禁煙をしている一般診療所の数*/一般診療所の 数 *一般診療所票(18)受動喫煙防止対策の状況で、「1敷 地内を全面禁煙としている」の施設数	
		敷地内禁煙をしている病院の割合(%)	90.7	92.6	-	-	-	-	-			敷地内禁煙をしている病院の数*/病院の数 *病院票(21)受動喫煙防止対策の状況で、「1敷地内を 全面禁煙としている」の施設数	
予防	がん検診受診率	胃がん検診受診率(%)	42.4	38.7	-	-	-	-	-	国民生活基礎 調査	令和元年度(3 年毎)	胃がん検診受診者数*/調査対象者数 *胃がんの各検診を過去1年以内に受けた者数	
		肺がん検診受診率(%)	49.4	43.9	-	-	-	-	-			肺がん検診受診者数*/調査対象者数 *肺がんの各検診を過去1年以内に受けた者数	
		大腸がん検診受診率(%)	44.2	39.8	-	-	-	-	-			大腸がん検診受診者数*/調査対象者数 *大腸がんの各検診を過去1年以内に受けた者数	
		子宮がん検診受診率(%)	43.7	38.9	-	-	-	-	-			子宮がん検診受診者数*/調査対象者数(女性) *子宮がんの各検診を過去1年以内に受けた者数	
		乳がん検診受診率(%)	47.4	44.3	-	-	-	-	-			乳がん検診受診者数*/調査対象者数(女性) *乳がんの各検診を過去1年以内に受けた者数	
予防	喫煙率	喫煙率(男性)(%)	33.7	29.7	-	-	-	-	-	国民生活基礎 調査	平成25年 (3年毎)	喫煙率=喫煙者数*/調査対象者数** *20歳以上で「毎日吸っている」「ときどき吸っている」の 合計人数 **20歳以上の調査対象者数	
		喫煙率(女性)(%)	10.7	8.6	-	-	-	-	-				
予防	ニコチン依存症管理料を算定する患者数(診療報酬ごと)	ニコチン依存管理料を算定する患者数【二次医療圏】(医療機 関数)		269	11	20	9	188	31	10	NDB	令和3年度	B001-3-2 ニコチン依存管理料の算定件数
		算定回数		3,216	112	233	132	2,241	369	129			B001-3-2 ニコチン依存管理料の算定件数
		レセプト件数		2,437	83	177	92	1,706	280	99			B001-3-2 ニコチン依存管理料の算定件数
		人口10万人対		10.4	12.3	10.6	6.9	11.6	7.2	8.3			B001-3-2 ニコチン依存管理料の算定件数
		うちニコチン依存管理料(初回)を算定する患者数【二次医療 圏】(医療機関数)		234	10	18	7	160	29	10			B001-3-21 ニコチン依存症管理料(初回)の算定件数
		算定回数		847	24	60	27	592	101	43			B001-3-21 ニコチン依存症管理料(初回)の算定件数
		レセプト件数		847	24	60	27	592	101	43			B001-3-21 ニコチン依存症管理料(初回)の算定件数
		人口10万人対		9.1	11.2	9.5	5.4	9.9	6.7	8.3			B001-3-21 ニコチン依存症管理料(初回)の算定件数
		うちニコチン依存管理料(2回目~4回目まで)を算定する患者 数【二次医療圏】(医療機関数)		242	11	19	9	166	28	9			B001-3-22 ニコチン依存症管理料(2回目から4回目ま で)の算定件数
		算定回数		1,929	69	139	84	1,334	226	77			B001-3-22 ニコチン依存症管理料(2回目から5回目ま で)の算定件数
		レセプト件数		1,546	57	114	66	1,065	183	61			B001-3-22 ニコチン依存症管理料(2回目から6回目ま で)の算定件数
		人口10万人対		9.4	12.3	10.0	6.9	10.3	6.5	7.4			B001-3-22 ニコチン依存症管理料(2回目から7回目ま で)の算定件数
		うちニコチン依存管理料(5回)を算定する患者数【二次医療 圏】(医療機関数)		158	8	12	7	107	18	6			B001-3-23 ニコチン依存症管理料(5回目)の算定件数
		算定回数		387	19	22	21	286	39	*			B001-3-23 ニコチン依存症管理料(5回目)の算定件数
		レセプト件数		387	19	22	21	286	39	*			B001-3-23 ニコチン依存症管理料(5回目)の算定件数
		人口10万人対		6.1	8.9	6.3	5.4	6.6	4.2	5.0			B001-3-23 ニコチン依存症管理料(5回目)の算定件数
予防	ハイリスク飲酒者の割合 (全国数値のみ)	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者(総数)	11.8	-	-	-	-	-	-	国民健康・栄 養調査	R1年11月1日 現在	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者**/調 査対象者*1日当たりの純アルコール摂取量が男性で 40g以上、女性20g以上の者**平成27年国民生活基礎 調査(約11,000単位区内の世帯約30万世帯及び世帯 員約74万人)において設定された単位区から層化無作 為抽出した300単位区内のすべての世帯及び世帯員 で、平成27年11月1日現在で1歳以上の者	
		生活習慣病のリスクを高める量を飲酒していない者(総数)	88.2	-	-	-	-	-	-				
		生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者(男性)	14.9	-	-	-	-	-	-				
		生活習慣病のリスクを高める量を飲酒していない者(男性)	85.1	-	-	-	-	-	-				
		生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者(女性)	9.1	-	-	-	-	-	-				
		生活習慣病のリスクを高める量を飲酒していない者(女性)	90.9	-	-	-	-	-	-				

がんの医療提供体制構築に係る現状把握のための指標

病期	指標名	人口(千人)	全国	京都府	二次医療圏						調査名等	調査年 (調査周期)	定義
					丹後	中丹	南丹	京都・乙訓	山城北	山城南			
予防	運動習慣のある者の割合 (年齢別集計値あり、全国数値のみ)	運動の習慣有(総数)	28.7	-	-	-	-	-	-	-	国民健康・栄養調査	R1年11月1日 現在	調査対象者のうち運動習慣のある者*/調査対象者 *1 回30分以上の運動を週2回以上実施し、1年以上継続している調査対象者の割合
		運動の習慣無(総数)	71.3	-	-	-	-	-	-	-			
		運動の習慣有(男性)	33.6	-	-	-	-	-	-	-			
		運動の習慣無(男性)	66.4	-	-	-	-	-	-	-			
		運動の習慣有(女性)	25.0	-	-	-	-	-	-	-			
予防	野菜と果物の摂取量 (栄養成分別・野菜別・果物別集計値あり、全国数値のみ)	野菜類	263.6	-	-	-	-	-	-	-	国民健康・栄養調査	R1年11月1日 現在	国民健康・栄養調査食品群別表に基づき、調査対象者が調査日に摂取した野菜・果実の量
		果実類	106.0	-	-	-	-	-	-	-			
予防	食塩摂取量(栄養成分別集計値あり、全国数値のみ)	食塩摂取量【全国】	10.1	-	-	-	-	-	-	-	国民健康・栄養調査	R1年11月1日 現在	調査対象者が調査日に摂取した食塩の量
予防	公費肝炎検査実施数	B型肝炎ウイルス検査実施件数(集計値)	240,211	5,134	-	-	-	-	-	-	特定感染症検査等事業(都道府県)	令和2年度 (毎年)	公的肝炎ウイルス検査実施件数
		人口10万人対	190.4	199.1	-	-	-	-	-	-			
		C型肝炎ウイルス検査実施件数(集計値)	235,510	5,195	-	-	-	-	-	-			
		人口10万人対	186.7	201.5	-	-	-	-	-	-			
予防	公費肝炎治療開始者数	インターフェロン治療(集計値)	173	3	-	-	-	-	-	-	肝炎対策特別促進事業	令和3年度 (毎年)	肝炎治療受給者証交付枚数
		人口10万人対	0.1	0.1	-	-	-	-	-	-			
		インターフェロンフリー治療(集計値)	11,780	216	-	-	-	-	-	-			
		人口10万人対	9.3	8.4	-	-	-	-	-	-			
		核酸アナログ製剤治療【都道府県】	88,637	1,634	-	-	-	-	-	-			
人口10万人対	70.3	63.4	-	-	-	-	-	-					
治療	がん診療連携拠点病院数	がん診療拠点病院の数	409	13	1	1	1	7	2	1	厚生労働省とりまとめ	令和5年4月1日 (毎年)	
		人口10万人対	0.3	0.5	1.1	0.5	0.8	0.4	0.5	0.8			
治療	放射線治療を実施している医療機関数	放射線治療室を有している病院数	88	4	-	1	-	2	1	-	医療施設静態調査	令和2年 (3年毎)	病院票(28)特殊診療設備で、「放射線治療病室」が有の施設数
		人口10万人対	0.1	0.1	-	0.5	-	0.1	2.3	-			
		放射線治療(体外照射)を実施している病院数	794	16	-	2	1	10	3	-			
		人口10万人対	0.6	0.6	-	1.0	7.7	0.7	0.4	-			
		放射線治療(組織内照射)を実施している病院数	164	4	-	1	-	3	-	-			
		人口10万人対	0.1	0.2	-	0.5	-	0.3	-	-			
治療	放射線治療(IMRT)を実施している病院数	放射線治療(IMRT)を実施している病院数	424	10	-	1	-	7	2	-	医療施設静態調査	令和2年 (3年毎)	病院票(32)放射線治療の実施状況で、「IMRT」の有の施設数
		人口10万人対	0.3	0.3	-	11.2	-	0.4	0.2	-			
		がん治療認定医【都道府県】	18,009	555	-	-	-	-	-	-			
治療	放射線治療・薬物療法・リハビリテーション専門医が配置されている拠点病院の割合	がん治療認定医【都道府県】	18,009	555	-	-	-	-	-	-	専門医の認定状況(日本がん治療認定医機構HP)	令和5年4月1日 現在	日本がん治療認定医機構が認定したがん治療認定医の数
		人口10万人対	14.3	21.5	-	-	-	-	-	-			
		がん治療認定医(歯科口腔外科)【都道府県】	635	12	-	-	-	-	-	-			
治療	地域がん診療病院数	地域がん診療病院数【二次医療圏】	47	2	-	-	1.0	-	-	1.0	がん診療連携拠点病院等の一覧(厚生労働省HP)	平成28年10月1日 現在	地域がん診療病院の指定を受けている医療機関の数
		人口10万人対	0.0	0.1	-	-	0.8	-	-	0.0			
治療	悪性腫瘍特異物質治療管理料の算定件数	悪性腫瘍特異物質治療管理料の算定件数(医療機関数)	34616	990	28	56	42	711	117	36	NDB	令和3年度	B0013 悪性腫瘍特異物質治療管理料の算定件数
		算定回数	13366827	336,717	11,291	29,562	11,785	239,888	36,811	7,380			
		レセプト件数	13366782	336,714	11,291	29,562	11,785	239,885	36,811	7,380			
		人口10万人対	27.4	38.4	31.2	29.6	32.1	44.0	27.2	29.7			
治療	術中迅速病理組織標本の作製件数	術中迅速病理組織標本の作製件数(医療機関数)		26	*	3	*	17	6	*	NDB	令和3年度	N003 術中迅速病理組織標本の算定件数
		算定回数		2,945	48	115	68	2,377	284	53			
		レセプト件数		2,914	48	112	66	2,358	277	53			
		人口10万人対		1.0	-	1.6	-	1.1	1.4	-			

がんの医療提供体制構築に係る現状把握のための指標

病期	指標名	人口(千人)	全国	京都府	二次医療圏						調査名等	調査年 (調査周期)	定義
					丹後	中丹	南丹	京都・乙訓	山城北	山城南			
治療	病理組織標本の作製件数	病理組織標本の作製件数(医療機関数)	39650	440	15	26	18	313	55	13	NDB	令和3年度	N000 病理組織標本の算定件数
		算定回数	4043104	49,111	1266	3767	1427	36815	5073	763			
		レセプト件数	3733982	43,650	1194	3357	1274	32362	4726	737			
		人口10万人対	31.4	17.1	16.7	13.7	13.8	19.4	12.8	10.7			
治療	がんリハビリテーションの実施件数	がんリハビリテーションの実施件数(医療機関数)		27	*	5	0	17	5	*	NDB	令和3年度 (毎年)	がんリハビリテーションの実施件数(レセプト件数)
		算定回数		101,146	487	14,183	0	58,025	25,531	2,920			
		レセプト件数		8,429	31	1,585	0	5,012	1,579	222			
		人口10万人対		1.0	-	2.6	0.0	1.1	1.2	-			
治療	地域連携クリティカルパスに基づく診療計画策定等実施件数	地域連携クリティカルパスに基づく診療計画策定等実施件数(医療機関数)		8	0	*	0	8	*	*	NDB	令和3年度	B005-6 地域連携計画策定料の算定件数
		算定回数		304	0	*	0	276	28	*			
		レセプト件数		304	0	*	0	276	28	*			
		人口10万人対		0.3	0.0	*	0.0	0.5	*	*			
治療	地域連携クリティカルパスに基づく診療提供等実施件数	地域連携クリティカルパスに基づく診療提供等実施件数(医療機関数)		187	0	*	5	157	18	7	NDB	令和3年度	B005-6-2がん治療連携指導料の算定件数
		算定回数		2,765	0	*	28	2,608	102	27			
		レセプト件数		2,765	0	*	28	2,608	102	27			
		人口10万人対		7.3	0.0	*	3.8	9.7	4.2	5.8			
治療	がん患者の年齢調整死亡率	がん患者の年齢調整死亡率(男性)【都道府県】	165.3	159.5	-	-	-	-	-	-	人口動態特殊報告	平成27年	悪性新生物の年齢調整死亡率
		がん患者の年齢調整死亡率(女性)【都道府県】	87.7	85.1	-	-	-	-	-	-			
治療	がん患者の死亡者数	がん患者の死亡者数(悪性新生物)(集計値)	381505	7739	-	-	-	-	-	-	人口動態調査	令和3年度	死因分類表に基づく死因ごとの死亡者数
		人口10万人対	300.2	297.7	-	-	-	-	-	-			
		がん患者の死亡者数(胃)(集計値)	41624	848	-	-	-	-	-	-			
		人口10万人対	32.8	32.6	-	-	-	-	-	-			
		がん患者の死亡者数(結腸、直腸S状結腸移行部及び直腸)(集計値)	52418	1007	-	-	-	-	-	-			
		人口10万人対	41.2	38.7	-	-	-	-	-	-			
		がん患者の死亡者数(肝および肝内胆管)(集計値)	24102	494	-	-	-	-	-	-			
		人口10万人対	19.0	19.0	-	-	-	-	-	-			
		がん患者の死亡者数(気管、気管及び肺)(集計値)	76212	1648	-	-	-	-	-	-			
		人口10万人対	60.0	63.4	-	-	-	-	-	-			
		がん患者の死亡者数(乳房)(集計値)	14908	303	-	-	-	-	-	-			
		人口10万人対	11.7	11.7	-	-	-	-	-	-			
		がん患者の死亡者数(子宮)(集計値)	6818	139	-	-	-	-	-	-			
人口10万人対	5.4	5.3	-	-	-	-	-	-					
治療	外来化学療法を実施している医療機関数	外来化学療法を実施している一般診療所数	452	12	-	1	-	9	2	-	医療施設静態調査	令和2年 (3年毎)	一般診療所(25)手術等の実施状況で「外来化学療法」が有の施設数
		人口10万人対	0.4	0.5	-	0.5	-	0.6	0.5	-			
		外来化学療法を実施している病院数	1,828	45	1	5	3	27	8	1			
		人口10万人対	1.4	1.7	1.1	2.6	2.3	1.7	1.9	0.8			
治療	緩和ケアチームのある医療機関数	緩和ケアチームのある病院数	1124	30	1	5	1	18	4	1	医療施設静態調査	令和2年 (3年毎)	病院(29)緩和ケアの状況で「緩和ケアチーム」が有の施設数
		人口10万人対	0.9	1.2	1.1	2.6	0.8	1.1	0.9	0.8			
治療	緩和ケア病棟を有する病院数・病床数	緩和ケア病棟を有する病院数	479	15	-	1	-	11	3	-	医療施設静態調査	令和2年 (3年毎)	病院(29)緩和ケアの状況で「緩和ケア病棟」が有の施設数
		人口10万人対	0.4	0.6	-	0.5	-	0.7	0.7	-			
		緩和ケア病棟を有する病院の病床数	9,498	280	-	15	-	200	65	-			
		人口10万人対	7.5	10.9	-	7.9	-	12.4	15.1	-			



がんの医療提供体制構築に係る現状把握のための指標

病期	指標名	人口(千人)	全国	京都府	二次医療圏						調査名等	調査年 (調査周期)	定義	
					丹後	中丹	南丹	京都・乙訓	山城北	山城南				
治療	がんリハビリテーションを実施する医療機関数		1,558	27	-	5	0	17	5	-	NDB	令和3年度 (毎年)	H007-2 がん患者リハビリテーション料の届出施設数	
	人口10万人対	1.2	1.0	*	2.6	0.0	1.1	1.2	*					
治療	病理診断科医師数		2,120	54	1	1	1	48	3	-	医師・歯科医師・薬剤師統計	令和2年 (2年毎)	医師届出票(11)従事する診療科名等で主たる診療科を「病理診断科」と届出をした医師数	
	人口10万人対	1.7	2.1	1.1	0.5	0.8	3.0	0.7	-					
治療	がん患者に対してカウンセリングを実施している医療機関数	がん患者に対してがん患者指導管理料イを実施している医療機関数		36	2	5	2	21	5	1	診療報酬施設基準	令和5年7月	B001-23-1 がん患者指導管理料イの届出施設数	
		人口10万人対		1.4	2.2	2.6	1.5	1.3	1.2	0.8				
		がん患者に対してがん患者指導管理料ロを実施している医療機関数		36	1	6	2	21	5	1				
		人口10万人対		1.4	1.1	3.2	1.5	1.3	1.2	0.8				
		がん患者に対してがん患者指導管理料ハを実施している医療機関数		21	-	3	1	15	2	-				
		人口10万人対		0.8	-	1.6	0.8	0.9	0.5	-				
治療 療養支援	医療用麻薬の処方を行っている医療機関数	医療用麻薬の処方を行っている一般診療所数	8,058	162	-	-	-	-	-	-	医療施設静態調査	令和2年 (3年毎)	一般診療所票(10)処方の状況で、「医療麻薬の処方」が有の施設数	
		人口10万人対	6.4	6.3	-	-	-	-	-	-				
		医療用麻薬の処方を行っている病院数	5,313	113	-	-	-	-	-	-	-	医療施設静態調査	令和2年 (3年毎)	病院票(34)薬剤管理指導・処方の状況で、「医療麻薬の処方」が有の施設数
		人口10万人対	4.2	4.4	-	-	-	-	-	-				
治療	悪性腫瘍手術の実施件数	一般診療所における悪性腫瘍手術の実施件数	1,416	70	-	1	-	12	-	-	医療施設静態調査	令和2年 (3年毎)	一般診療所票(25)手術等の実施状況の「悪性腫瘍手術」の9月中の実施件数	
		人口10万人対	1.1	2.7	-	0.5	-	0.7	-	-				
		病院における悪性腫瘍手術の実施件数	57,321	1,219	41	93	43	905	116	21	医療施設静態調査	令和2年 (3年毎)	病院票(30)手術等の実施状況の「悪性腫瘍手術」の9月中の実施件数	
		人口10万人対	45.4	47.3	45.7	49.1	32.9	56.0	27.0	17.3				
治療	放射線治療の実施件数	放射線治療(体外照射)の実施件数	200,200	5,460	-	624	203	3,815	818	-	医療施設静態調査	令和2年 (3年毎)	病院票(31)放射線治療の実施状況で、「放射線治療(体外照射)」の9月中の患者数	
		人口10万人対	158.7	211.8	-	329.3	155.3	235.9	190.2	-				
		放射線治療(組織内照射)の実施件数	1,128	9	-	-	-	9	-	-				
		人口10万人対	0.9	0.3	-	-	-	0.6	-	-				
治療	外来化学療法の実施件数	一般診療所における外来化学療法の実施件数	8,413	283	-	14	-	244	25	-	医療施設静態調査	令和2年 (3年毎)	一般診療所票(25)手術等の実施状況の「外来化学療法」の9月中の実施件数	
		人口10万人対	6.7	11.0	-	7.4	-	15.1	5.8	-				
		病院における外来化学療法の実施件数	305,410	7,382	10	647	222	5,515	805	183	医療施設静態調査	令和2年 (3年毎)	病院票(28)特殊診療設備の「外来化学療法室」の9月中の取扱患者延数	
		人口10万人対	242.1	286.3	11.2	341.5	169.8	341.0	187.2	151.1				
治療	緩和ケアの実施件数	緩和ケア病棟の取扱患者延数	142,242	3,809	-	361	-	2604	844	-	医療施設静態調査	令和2年 (3年毎)	病院票(32)緩和ケアの状況で「緩和ケア病棟」の9月中の取扱患者延数	
		人口10万人対	112.8	147.8	-	190.5	-	161.0	196.3	-				
		緩和ケアチームの患者数	34,621	616	1	130	4	442	31	8	医療施設静態調査	令和2年 (3年毎)	病院票(32)緩和ケアの状況で「緩和ケアチーム」の9月中の患者数	
		人口10万人対	27.4	23.9	1.1	68.6	3.1	27.3	7.2	6.6				
治療	がんリハビリテーションの実施件数		0	8,429	31	1,585	0	5,012	1,579	222	NDB	令和3年度	H007 がん患者リハビリテーション料の算定件数	
	人口10万人対	0.0	1.0	-	2.6	0.0	1.1	1.2	-					
治療 療養支援	医療用麻薬の消費量		31.3	24.9	-	-	-	-	-	-	麻薬・覚せい剤行政の概況 2022年12月	令和2年	モルヒネ・オキシコドン・フェンタニルの消費量のモルヒネ換算合計*／人口×千人 *モルヒネ換算合計：国際麻薬統制委員会による換算比(オキシコドン：X 1.5、フェンタニル：X 166.7)を用いて、モルヒネ換算したモルヒネ、オキシコドン及びフェンタニルの消費量の合計	
療養支援	末期のがん患者に対して在宅医療を提供する医療機関数		1,087	28	*	*	*	24	4*	-	NDB	令和3年度	C003 在宅末期医療総合診療料届け出施設数	
	人口10万人対	0.9	1.1	*	*	*	1.5	0.9*	-					
療養支援	麻薬小売業免許取得薬局数		60,951	1121	-	-	-	-	-	-	麻薬・覚せい剤行政の概況 2022年12月	令和3年		
	人口10万人対	48.3	43.5	-	-	-	-	-	-	-				

がんの医療提供体制構築に係る現状把握のための指標

病期	指標名	人口(千人)	全国	京都府	二次医療圏						調査名等	調査年 (調査周期)	定義
					丹後	中丹	南丹	京都・乙訓	山城北	山城南			
療養支援	外来緩和ケア実施医療機関数	外来緩和ケアの実施件数(医療機関数)	147	5	0	*	0	5	0	0	NDB	令和3年度	B001-24 外来緩和ケア管理料の届出施設数
		算定回数	18,223	112	0	*	0	112	0	0			
		レセプト件数	18,223	112	0	*	0	112	0	0			
		人口10万人対	0.1	0.2	0.0	-	0.0	0.3	0.0	0.0			
療養支援	がん患者指導の実施件数	がん患者指導の実施件数(医療機関数)		36	0	6	*	24	6	*	NDB	令和3年度	B00123 がん患者指導管理料の算定件数
		算定回数		19,335	0	1118	724	16003	1438	52			
		レセプト件数		16,736	0	848	676	13897	1266	49			
		人口10万人対		1.4	0.0	3.2	-	1.5	1.4	-			
		うちがん患者指導管理料1の実施件数(医療機関数)		28	0	5	*	18	5	*	NDB	令和3年度	B001231 がん患者指導管理料1の算定件数
		算定回数		4,071	0	291	240	3204	311	25			
		レセプト件数		4,070	0	291	240	3203	311	25			
		人口10万人対		1.1	0.0	2.6	-	1.1	1.2	-			
		うちがん患者指導管理料2の実施件数(医療機関数)		26	0	3	*	19	4	*	NDB	令和3年度	B001232 がん患者指導管理料2の算定件数
		算定回数		6,630	0	633	74	5476	420	27			
		レセプト件数		5,663	0	437	70	4734	395	27			
		人口10万人対		1	0	2	-	1	1	-			
		うちがん患者指導管理料3の実施件数(医療機関数)		*	0	*	*	14	*	0	NDB	令和3年度	B001233 がん患者指導管理料3の算定件数
		算定回数		8344	0	179	399	7084	682	0			
		レセプト件数		7652	0	177	372	6542	561	0			
		人口10万人対		-	0.0	-	-	0.9	-	0.0			
療養支援	入院緩和ケアの実施件数	入院緩和ケアの実施件数(医療機関数)		8	0	*	*	8	*	0	NDB	令和3年度	A226-2 緩和ケア診療加算
		算定回数		17,593	0	769	130	15370	1324	0			
		レセプト件数		2,347	0	148	12	2075	112	0			
		人口10万人対		0.3	0.0	-	-	0.5	-	0.0			
療養支援	うち有床診療所緩和ケア診療加算の実施件数(医療機関数)	うち有床診療所緩和ケア診療加算の実施件数(医療機関数)		-	0	0	*	0	0	0	NDB	令和3年度	A226-3うち有床診療所緩和ケア診療加算の算定件数
		算定回数		116	0	0	116	0	0	0			
		レセプト件数		0	0	0	*	0	0	0			
		人口10万人対		-	0.0	0.0	-	0.0	0.0	0.0			
療養支援	うち小児加算(緩和ケア診療加算)の実施件数(医療機関数)	うち小児加算(緩和ケア診療加算)の実施件数(医療機関数)		3	0	0	0	3	0	0	NDB	令和3年度	A226-2うち小児加算(緩和ケア診療加算)の算定件数
		算定回数		352	0	0	0	352	0	0			
		レセプト件数		71	0	0	0	71	0	0			
		人口10万人対		0.1	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0			
療養支援	外来緩和ケアの実施件数	外来緩和ケアの実施件数(医療機関数)		5	0	*	0	5	0	0	NDB	令和3年度	B00124 外来緩和ケア管理料の算定件数
		算定回数		112	0	*	0	112	0	0			
		レセプト件数		112	0	*	0	112	0	0			
		人口10万人対		0.2	0.0	-	0.0	0.3	0.0	0.0			
療養支援	がん性疼痛緩和の実施件数	がん性疼痛緩和の実施件数(医療機関数)		78	5	7	10	43	10	3	NDB	令和3年度	B00122 がん性疼痛緩和指導管理料の算定件数
		算定回数		5,650	130	1191	145	3870	271	43			
		レセプト件数		5,650	130	1191	145	3870	271	43			
		人口10万人対		3.0	5.6	3.7	7.7	2.7	2.3	2.5			

がんの医療提供体制構築に係る現状把握のための指標

病期	指標名	人口(千人)	全国	京都府	二次医療圏						調査名等	調査年 (調査周期)	定義
					丹後	中丹	南丹	京都・乙訓	山城北	山城南			
			126,146.00	2,578.00	89.63	189.48	130.71	1,617.14	429.99	121.11			
療養支援	がん性疼痛緩和と指導管理料1の実施件数(医療機関数)	うちがん性疼痛緩和と指導管理料1の実施件数(医療機関数)		82	3	10	3	51	11	4	NDB	令和3年度	B001221 がん性疼痛緩和と指導管理料1の算定件数
		算定回数		5,650	130	1191	145	3870	271	43			
		レセプト件数		5,650	130	1191	145	3870	271	43			
		人口10万人対		3.2	3.3	5.3	2.3	3.2	2.6	3.3			
療養支援	がん性疼痛緩和の実施件数	うちがん性疼痛緩和と指導管理料2の実施件数(医療機関数)	1,909	44	3	6	*	27	8	*	NDB	平成27年度	B001222 がん性疼痛緩和と指導管理料2の算定件数
		算定回数	99,419	2,317	149	898	53	947	174	96			
		レセプト件数	99,412	2,317	149	898	53	947	174	96			
		人口10万人対	81.8	134.0	143.8	442.2	37.7	60.3	39.3	80.4			
療養支援	がん性疼痛緩和と指導管理料小児加算(15歳未満)の実施件数(医療機関数)	うちがん性疼痛緩和と指導管理料小児加算(15歳未満)の実施件数(医療機関数)		*	0	0	0	*	0	0	NDB	令和3年度	B001222 がん性疼痛緩和と指導管理料小児加算(15歳未満)の算定件数
		算定回数		12	0	0	0	12	0	0			
		レセプト件数		12	0	0	0	12	0	0			
		人口10万人対		-	0.0	0.0	0.0	-	0.0	0.0			
療養支援	在宅がん医療総合診療料の算定件数	在宅がん医療総合診療料の算定件数(医療機関数)		31	*	3	*	24	4	*	NDB	令和3年度	C003 在宅がん医療総合診療料の算定件数
		算定回数		12,849	25	89	1,916	7,177	3,611	31			
		レセプト件数		630	*	*	105	369	156	*			
		人口10万人対		1.2	-	1.6	-	1.5	0.9	-			
療養支援	がん患者の在宅死亡割合	がん患者の在宅死亡割合(悪性新生物)	13.3	13.7	-	-	-	-	-	-	人口動態調査	平成27年	在宅等でのがんによる死亡者数*/がんによる死亡者数** ** 都道府県別の死因「悪性新生物」の在宅等(介護老人保健施設、自宅、老人ホーム)での死亡者数 ** 都道府県別の死因「悪性新生物」の全死亡者数
		がん患者の在宅死亡割合(胃)	14.7	15.6	-	-	-	-	-	-			在宅等でのがんによる死亡者数*/がんによる死亡者数** ** 都道府県別の死因「胃の悪性新生物」の在宅等(介護老人保健施設、自宅、老人ホーム)での死亡者数 ** 都道府県別の死因「胃の悪性新生物」の全死亡者数
		がん患者の在宅死亡割合(結腸、直腸S状結腸移行部及び直腸)	14.9	15.9	-	-	-	-	-	-			在宅等でのがんによる死亡者数*/がんによる死亡者数** ** 都道府県別の死因「結腸、直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物」の在宅等(介護老人保健施設、自宅、老人ホーム)での死亡者数 ** 都道府県別の死因「結腸、直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物」の全死亡者数
		がん患者の在宅死亡割合(肝および肝内胆管)	12.6	14.8	-	-	-	-	-	-			在宅等でのがんによる死亡者数*/がんによる死亡者数** ** 都道府県別の死因「肝及び肝内胆管の悪性新生物」の在宅等(介護老人保健施設、自宅、老人ホーム)での死亡者数 ** 都道府県別の死因「肝及び肝内胆管の悪性新生物」の全死亡者数
		がん患者の在宅死亡割合(気管、気管支及び肺)	11.8	12.4	-	-	-	-	-	-			在宅等でのがんによる死亡者数*/がんによる死亡者数** ** 都道府県別の死因「気管、気管支及び肺の悪性新生物」の在宅等(介護老人保健施設、自宅、老人ホーム)での死亡者数 ** 都道府県別の死因「気管、気管支及び肺の悪性新生物」の全死亡者数
		がん患者の在宅死亡割合(乳房)	15.1	15.9	-	-	-	-	-	-			在宅等でのがんによる死亡者数*/がんによる死亡者数** ** 都道府県別の死因「乳房の悪性新生物」の在宅等(介護老人保健施設、自宅、老人ホーム)での死亡者数 ** 都道府県別の死因「乳房の悪性新生物」の全死亡者数

脳卒中の医療提供体制構築に係る現状把握のための指標例

病期	指標名	全国	京都府	二次医療圏						調査名等	調査年 (調査周期)	定義	
				丹後	中丹	南丹	京都・乙訓	山城北	山城南				
				人口(千人)	126,146.00	2,578.00	89.63	189.48	130.71				1,617.14
予防	健康診断・健康診査の受診率	73.3	68.9	-	-	-	-	-	-	国民生活基礎調査	令和元年 (3年毎)	健診受診者数*／調査対象者数** *過去1年間に健康診断を受けた40歳～74歳の者の数 **同調査の40歳～74歳の対象者数	
予防	ニコチン依存症管理料を算定する患者数(診療報酬ごと)	ニコチン依存管理料を算定する患者数【二次医療圏】(医療機関数)	12,408	269	11	20	9	188	31	10	NDB	令和2年度診療分	B001-3-2 ニコチン依存管理料の算定件数
		算定回数	167,255	3,216	112	233	132	2,241	369	129			B001-3-2 ニコチン依存管理料の算定件数
		レセプト件数	121,337	2,437	83	177	92	1,706	280	99			B001-3-2 ニコチン依存管理料の算定件数
		人口10万人対	9.8	10.4	12.3	10.6	6.9	11.6	7.2	8.3			B001-3-2 ニコチン依存管理料の算定件数
		うちニコチン依存管理料(初回)を算定する患者数【二次医療圏】(医療機関数)	10,024	234	10	18	7	160	29	10			B001-3-21 ニコチン依存症管理料(初回)の算定件数
		算定回数	31,149	847	24	60	27	592	101	43			B001-3-21 ニコチン依存症管理料(初回)の算定件数
		レセプト件数	31,149	847	24	60	27	592	101	43			B001-3-21 ニコチン依存症管理料(初回)の算定件数
		人口10万人対	7.9	9.1	11.2	9.5	5.4	9.9	6.7	8.3			B001-3-21 ニコチン依存症管理料(初回)の算定件数
		うちニコチン依存管理料(2回目～4回目まで)を算定する患者数【二次医療圏】(医療機関数)	9,458	242	11	19	9	166	28	9			B001-3-22 ニコチン依存症管理料(2回目から4回目まで)の算定件数
		算定回数	84,700	1,929	69	139	84	1,334	226	77			B001-3-22 ニコチン依存症管理料(2回目から5回目まで)の算定件数
		レセプト件数	67,414	1,546	57	114	66	1,065	183	61			B001-3-22 ニコチン依存症管理料(2回目から6回目まで)の算定件数
		人口10万人対	7.5	9.4	12.3	10.0	6.9	10.3	6.5	7.4			B001-3-22 ニコチン依存症管理料(2回目から7回目まで)の算定件数
		うちニコチン依存管理料(5回)を算定する患者数【二次医療圏】(医療機関数)	5,204	158	8	12	7	107	18	6			B001-3-23 ニコチン依存症管理料(5回目)の算定件数
		算定回数	9,136	387	19	22	21	286	39	*			B001-3-23 ニコチン依存症管理料(5回目)の算定件数
		レセプト件数	9,136	387	19	22	21	286	39	*			B001-3-23 ニコチン依存症管理料(5回目)の算定件数
		人口10万人対	4.1	6.1	8.9	6.3	5.4	6.6	4.2	5.0			B001-3-23 ニコチン依存症管理料(5回目)の算定件数
予防	ハイリスク飲酒者の割合 (全国数値のみ)	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者(総数)	11.8	-	-	-	-	-	-	-	国民健康・栄養調査	R1年11月1日現在	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者*/**調査対象者* 1日当たりの純アルコール摂取量が男性で40g以上、女性20g以上の者**令和元年国民生活基礎調査(約11,000単位区内の世帯約30万世帯及び世帯員約72万人)において設定された単位区から層化無作為抽出した300単位区内のすべての世帯及び世帯員で、令和元年11月1日現在で1歳以上の者
		生活習慣病のリスクを高める量を飲酒していない者(総数)	88.2	-	-	-	-	-	-	-			
		生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者(男性)	14.9	-	-	-	-	-	-	-			
		生活習慣病のリスクを高める量を飲酒していない者(男性)	85.1	-	-	-	-	-	-	-			
		生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者(女性)	9.1	-	-	-	-	-	-	-			
		生活習慣病のリスクを高める量を飲酒していない者(女性)	90.9	-	-	-	-	-	-	-			
予防	高血圧性疾患患者の年齢調整外来受療率	215.30	201.10	-	-	-	-	-	-	患者調査	令和2年 (3年毎)	傷病大分類「高血圧性疾患」の都道府県別受療率を標準人口で補正した値	
予防 救護 急性期 回復期 維持期	年齢調整死亡率	脳血管疾患による年齢調整死亡率(男性)	37.8	33.1	-	-	-	-	-	人口動態特殊報告都道府県別年齢調整死亡率(業務・加工統計)	平成27年 (5年毎) 更新なし		
		脳血管疾患による年齢調整死亡率(女性)	21.0	18.8	-	-	-	-	-	-			
救護	脳血管疾患により救急搬送された患者数 (単位:千人)		4.8	0	0.5	0	2.8	1.1	0	患者調査	令和2年 (3年毎)	・病院入院(奇数)票(5)主病名「脳血管疾患」X病院入院(奇数)票(9) 「救急車により搬送」で個票解析 ・病院外来(奇数)票(5)主病名「脳血管疾患」X病院外来(奇数)票(8) 「救急車により搬送」で個票解析 ・一般診療所票(5)主病名「脳血管疾患」X一般診療所票(8)「救急車により搬送」で個票解析	
		人口10万人対	0.2	0.0	0.3	0.0	0.2	0.3	0.0				



脳卒中の医療提供体制構築に係る現状把握のための指標例

病期	指標名		全国	京都府	二次医療圏						調査名等	調査年 (調査周期)	定義
					丹後	中丹	南丹	京都・乙訓	山城北	山城南			
					人口(千人)	126,146.00	2,578.00	89.63	189.48	130.71			
急性期	くも膜下出血に対する脳動脈瘤クリッピング術の実施件数	実施医療機関数		*	0	*	0	8	4	0	NDB	令和2年度診療分	ICD10病名:160くも膜下出血を持つレセプトのうち、下記の医療機関数、実施件数・レセプト件数の集計(集計対象) K1761:脳動脈瘤流入血管クリッピング(開頭)(1箇所) K1762:脳動脈瘤流入血管クリッピング(開頭)(2箇所以上) K1771:脳動脈瘤頸部クリッピング(1箇所) K1772:脳動脈瘤頸部クリッピング(2箇所以上) →全国及び京都の10万人対は「地域医療計画策定評価総合支援サイト」の基準K1771及び1772のみ算定
		算定回数		80	0	14	0	47	19	0			
		レセプト件数		79	0	14	0	46	19	0			
		人口10万人対 算定回数	9.4	3.9	0.0	7.4	0.0	2.9	4.4	0.0			
急性期	くも膜下出血に対する脳動脈瘤コイル塞栓術の実施件数	実施医療機関数		*	0	*	0	14	3	*	NDB	令和2年度診療分	ICD10病名:160くも膜下出血を持つレセプトのうち、下記の医療機関数、実施件数・レセプト件数の集計(集計対象) K1781:脳血管内手術(1箇所) K1782:脳血管内手術(2箇所以上) K1783:脳血管内手術(脳血管内ステント)
		算定回数		118	0	18	0	71	29	0			
		レセプト件数		114	0	18	0	68	28	0			
		人口10万人対 算定回数	11.9	13.0	0.0	9.5	0.0	4.4	6.7	0.0			
急性期	脳卒中患者に対するリハビリテーションの実施件数	実施医療機関数		*	6	12	6	68	19	*	NDB	令和2年度診療分	ICD病名160:くも膜下出血、161:脳内出血、162:その他の非外傷性頭蓋内出血、163:脳梗塞、164:脳卒中、脳出血又は脳梗塞と明示されないものを持つレセプトのうち、下記の医療機関数、実施件数・レセプト件数の集計(集計対象) H0011イ:脳血管疾患等リハビリテーション料(1)(廃用症候群以外) H0012イ:脳血管疾患等リハビリテーション料(2)(廃用症候群以外) H0013イ:脳血管疾患等リハビリテーション料(3)(廃用症候群以外) →全国及び京都の10万人対は「地域医療計画策定評価総合支援サイト」の基準H001脳血管疾患等リハビリテーション料(入院+外来)
		算定回数		1,675,847	56,568	108,129	26,389	1,132,773	307,883	44,105			
		レセプト件数		19,648	810	1,868	440	12,526	3,584	420			
		人口10万人対	138,818.9	148,959.6	63,112.8	57,066.2	20,189.0	70,047.9	71,602.4	36,417.3			
急性期	脳卒中患者における地域連携計画作成等の実施件数	実施医療機関数		*	0	*	0	18	*	*	NDB	令和2年度診療分	ICD病名160:くも膜下出血、161:脳内出血、162:その他の非外傷性頭蓋内出血、163:脳梗塞、164:脳卒中、脳出血又は脳梗塞と明示されないものを持つレセプトのうち、下記の医療機関数、実施件数・レセプト件数の集計(集計対象) B005-2地域連携診療計画管理料 →全国及び京都の10万人対は「地域医療計画策定評価総合支援サイト」の基準A246-4地域連携診療計画加算から算定
		算定回数		*	0	*	0	697	99	18			
		レセプト件数		*	0	*	0	697	99	18			
		人口10万人対	66.8	73.4	0.0	-	0.0	43.1	23.0	14.9			
急性期回復期	退院患者平均在院日数	脳血管疾患退院患者平均在院日数	76.8	75.8	65.8	135.5	83.7	64.1	96.6	85.2	患者調査	令和2年	傷病分類「脳血管疾患」の退院患者平均在院日数
回復期	在宅等生活の場に復帰した患者の割合	在宅等生活の場に復帰した脳血管疾患患者数(単位:千人)		6.6	0.0	0.5	0.0	4.6	1.0	0.0	患者調査 (個票解析)	令和2年	・病院退院票(7)「脳血管疾患」X病院退院票(14)退院後の行き先「家庭」で個票解析 ・一般診療所退院票(7)「脳血管疾患」X一般診療所退院票(14)退院後の行き先「家庭」で個票解析
		脳血管疾患患者数(単位:千人)		11.7	0.0	1.0	0.0	8.0	1.6	0.0			
		在宅等生活の場に復帰した脳血管疾患患者の割合	55.2	56.7	57.0	53.2	49.3	57.3	59.1	40.0			
維持期	脳血管疾患患者の在宅死亡割合		28	32.6	-	-	-	-	-	-	人口動態調査	令和3年(毎年)	在宅等での死亡者数*/死亡者数** *都道府県別の死因「脳血管疾患」の在宅等(介護老人保健施設、自宅、老人ホーム)での死亡者数 **都道府県別の死因「脳血管疾患」の全死亡者数



心筋梗塞等の心血管疾患の医療提供体制構築に係る現状把握のための指標例

病期	必須◎ 推奨○	指標名	人口(千人)	全国	京都府	二次医療圏						調査名等	調査年 (調査周期)	定義
						丹後	中丹	南丹	京都・乙訓	山城北	山城南			
予防	◎	禁煙外来を行っている医療機関数	禁煙外来を行っている一般診療所数	13,564	282	-	-	-	-	-	-	医療施設調査	令和2年 (3年毎)	一般診療所票(17)禁煙外来等 禁煙外来で、「有」の施設数
			人口10万人対	10.7	10.8	-	-	-	-	-	-			病院票(21)禁煙外来等 禁煙外来で、「有」の施設数
			禁煙外来を行っている病院数	2,594	62	-	-	-	-	-	-			
			人口10万人対	2.0	2.4	-	-	-	-	-	-			
予防	◎	健康診断・健康診査の受診率		73.3	68.9	-	-	-	-	-	国民生活基礎調査	令和元年 (3年毎)	健診受診者数* / 調査対象者数** *過去1年間に健康診断を受けた40歳～74歳の者の数 **同調査の40歳～74歳の対象者数	
予防	◎	高血圧性疾患患者の年齢調整外来受療率		215.3	201.1	-	-	-	-	-	患者調査	令和2年 (3年毎)	傷病大分類「高血圧性疾患」の都道府県別受療率を標準人口で補正した値	
予防	◎	脂質異常症患者の年齢調整外来受療率		67.7	92.1	-	-	-	-	-	患者調査	令和2年 (3年毎)	傷病小分類「高脂血症」の都道府県別の年齢階級別推計患者数から算出した都道府県別受療率を標準人口で補正した値	
予防	◎	糖尿病患者の年齢調整外来受療率		92.0	85.2	-	-	-	-	-	患者調査	令和2年 (3年毎)	傷病大分類「糖尿病」の都道府県別受療率を標準人口で補正した値	
予防	◎	喫煙率	喫煙率(男性)	25.4	22.0	-	-	-	-	-	国民生活基礎調査	令和4年 (3年毎)	喫煙率=喫煙者数* / 調査対象者数** *20歳以上の男性で「毎日吸っている」「ときどき吸っている」の合計人数 **20歳以上の調査対象者数	
			喫煙率(女性)	7.7	6.2	-	-	-	-	-				-
予防		ニコチン依存症管理料を算定する患者数(診療報酬ごと)	ニコチン依存症管理料を算定する患者数【二次医療圏】(医療機関数)	12,408	269	11	20	9	188	31	10	NDB	令和2年度診療分	B001-3-2 ニコチン依存症管理料の算定件数
			算定回数	167,255	3,216	112	233	132	2,241	369	129			B001-3-2 ニコチン依存症管理料の算定件数
			レセプト件数	121,337	2,437	83	177	92	1,706	280	99			B001-3-2 ニコチン依存症管理料の算定件数
			人口10万人対											B001-3-2 ニコチン依存症管理料の算定件数
			うちニコチン依存症管理料(初回)を算定する患者数【二次医療圏】(医療機関数)	10,024	234	10	18	7	160	29	10			B001-3-21 ニコチン依存症管理料(初回)の算定件数
			算定回数	31,149	847	24	60	27	592	101	43			B001-3-21 ニコチン依存症管理料(初回)の算定件数
			レセプト件数	31,149	847	24	60	27	592	101	43			B001-3-21 ニコチン依存症管理料(初回)の算定件数
			人口10万人対											B001-3-21 ニコチン依存症管理料(初回)の算定件数
			うちニコチン依存症管理料(2回目～4回目まで)を算定する患者数【二次医療圏】(医療機関数)	9,458	242	11	19	9	166	28	9			B001-3-22 ニコチン依存症管理料(2回目から4回目まで)の算定件数
			算定回数	84,700	1,929	69	139	84	1,334	226	77			B001-3-22 ニコチン依存症管理料(2回目から5回目まで)の算定件数
			レセプト件数	67,414	1,546	57	114	66	1,065	183	61			B001-3-22 ニコチン依存症管理料(2回目から6回目まで)の算定件数
			人口10万人対											B001-3-22 ニコチン依存症管理料(2回目から7回目まで)の算定件数
			うちニコチン依存症管理料(5回)を算定する患者数【二次医療圏】(医療機関数)	5,204	158	8	12	7	107	18	6			B001-3-23 ニコチン依存症管理料(5回目)の算定件数
			算定回数	9,136	387	19	22	21	286	39	*			B001-3-23 ニコチン依存症管理料(5回目)の算定件数
			レセプト件数	9,136	387	19	22	21	286	39	*			B001-3-23 ニコチン依存症管理料(5回目)の算定件数
			人口10万人対											B001-3-23 ニコチン依存症管理料(5回目)の算定件数





心筋梗塞等の心血管疾患の医療提供体制構築に係る現状把握のための指標例

病期	必須◎ 推奨○	指標名		全国	京都府	二次医療圏					調査名等	調査年 (調査周期)	定義	
						丹後	中丹	南丹	京都・乙訓	山城北				山城南
						人口(千人)	126,146.00	2,578.00	89.63	189.48				130.71
急性期		外来心血管疾患リハビリテーションの実施件数	外来心血管疾患リハビリテーションの実施件数(医療機関数)	*	*	0	*	*	22	6	*	NDB	令和2年度診療分	入院外におけるH000 心大血管疾患リハビリテーション料の算定件数
			算定回数		108,780	0	3,818	5,473	71,142	28,177	170			
			レセプト件数		9,891	0	356	499	6,287	2712	37			
			人口10万人対											
急性期 回復期	◎	心臓リハビリテーションが実施可能な医療機関数	心大血管リハビリテーション料(Ⅰ)届出施設数		40	1	2	3	25	8	1	近畿厚生局届出受理	令和5年7月1日現在	H000 心大血管リハビリテーション料(Ⅰ)の届出施設数
			人口10万人対	1.2	1.6	1.1	1.1	2.3	1.5	1.9	0.8			
急性期 回復期	◎	心臓リハビリテーションが実施可能な医療機関数	心大血管リハビリテーション料(Ⅱ)届出施設数		3	0	0	0	2	1	0	近畿厚生局届出受理	令和5年7月1日現在	H000 心大血管リハビリテーション料(Ⅱ)の届出施設数
			人口10万人対	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.0			
急性期 回復期	◎	退院患者平均在院日数		12.7	19.4	5.0	3.9	5.9	5.3	76.1	6.2	患者調査	令和2年(3年毎)	傷病大分類「虚血性心疾患」の退院患者平均在院日数
回復期	○	在宅等生活の場に復帰した患者の割合	虚血性心疾患・退院後家庭復帰の患者数		9.2	0.0	0.9	0.0	5.6	1.9	0.0	患者調査	令和2年(3年毎)	・病院退院票(7)主病名「虚血性心疾患」X病院退院票(14)退院後の行き先「家庭1~4」で個票解析 ・一般診療所退院票(7)主病名「虚血性心疾患」X一般診療所退院票(14)退院後の行き先「家庭1~4」で個票解析
			虚血性心疾患の患者数		9.8	0.0	1.0	0.0	6.0	2.0	0.0			
			在宅復帰患者の割合		94.4	94.9	96.9	93.8	94.1	95.9	80.8			



糖尿病の医療提供体制構築に係る現状把握のための指標例

病期	指標名		全国	京都府	二次医療圏						調査名等	調査年 (調査周期)	定義
					丹後	中丹	南丹	京都・乙訓	山城北	山城南			
					人口(千人)	126,146.00	2,578.00	89.63	189.48	130.71			
予防	特定健診受診率		56.2	53.7	-	-	-	-	-	-	特定健康診 査・特定保健 指導に関する データ(厚生労 働省HP)	令和3年	医療保険者から国に報告された特定健康 診査・特定保健指導の実施結果
予防	特定保健指導実施率		24.7	26	-	-	-	-	-	-	特定健康診 査・特定保健 指導に関する データ(厚生労 働省HP)	令和3年	医療保険者から国に報告された特定健康 診査・特定保健指導の実施結果
予防	糖尿病予備群の者の数 (全国数値のみ)	(総数)	374	-	-	-	-	-	-	-	国民健康・栄 養調査	令和元年	ヘモグロビンA1cの測定値がある者のう ち、ヘモグロビンA1c(NGSP)値が6.0%以 上、6.5%未満で、インスリン注射や血糖を 下げる薬の使用者を除いた者の数
		(男性)	163	-	-	-	-	-	-	-			
		(女性)	211	-	-	-	-	-	-	-			
予防	糖尿病が強く疑われる者の数 (年齢別集計値あり、全国数値のみ)	糖尿病が強く疑われる人(総数)	351	-	-	-	-	-	-	-	国民健康・栄 養調査	令和元年	ヘモグロビンA1c(NGSP)値が6.5%以上、 又は「糖尿病治療の有無」に「有」と回答し た者の数
		(再掲)糖尿病が強く疑われる人のうち、服薬者*(総数)	195	-	-	-	-	-	-	-			
		糖尿病の可能性が否定できない人(総数)	307	-	-	-	-	-	-	-			
		上記以外(総数)	1754	-	-	-	-	-	-	-			
		糖尿病が強く疑われる人(男性)	200	-	-	-	-	-	-	-			
		(再掲)糖尿病が強く疑われる人のうち、服薬者*(男性)	112	-	-	-	-	-	-	-			
		糖尿病の可能性が否定できない人(男性)	126	-	-	-	-	-	-	-			
		上記以外(男性)	687	-	-	-	-	-	-	-			
		糖尿病が強く疑われる人(女性)	151	-	-	-	-	-	-	-			
		(再掲)糖尿病が強く疑われる人のうち、服薬者*(女性)	83	-	-	-	-	-	-	-			
		糖尿病の可能性が否定できない人(女性)	181	-	-	-	-	-	-	-			
		上記以外(女性)	1067	-	-	-	-	-	-	-			
初期・安定期治療	糖尿病内科(代謝内科)の医師数		5,630	189	-	-	-	-	-	-	医師・歯科医 師・薬剤師調 査	令和2年 (2年毎)	医師届出票(11)従事する診療科名等で 「糖尿病内科(代謝内科)」と届出をした医 師数
		人口10万人対	4.5	7.3	-	-	-	-	-	-			
初期・安定期治療	HbA1c検査の実施件数	算定回数	82,877,997	1,577,495	-	-	-	-	-	-	NDB	令和3年	HbA1c検査の算定件数
		人口10万人対	65,700.1	61,190.7	-	-	-	-	-	-			
初期・安定期治療 合併症予防を含 む専門治療	新規人工透析導入患者数	原疾患に記入があった導入患者数	37,952	631	-	-	-	-	-	-	日本透析医学 会	令和3年	医学会HP掲載の「新規透析導入患者と糖 尿病性腎症について」より
		うち原疾患が糖尿病性腎症	15,271	269	-	-	-	-	-	-			
		糖尿病腎症による新規人工透析導入割合	40.2%	42.6%	-	-	-	-	-	-			

糖尿病の医療提供体制構築に係る現状把握のための指標例

病期	指標名		全国	京都府	二次医療圏						調査名等	調査年 (調査周期)	定義	
					丹後	中丹	南丹	京都・乙訓	山城北	山城南				
					人口(千人)	126,146.00	2,578.00	89.63	189.48	130.71				1,617.14
初期・安定期治療	健康診断・健康診査の受診率		73.3	68.9	-	-	-	-	-	-	国民生活基礎調査	令和元年 (3年毎)	健診受診者数*/調査対象者数** *過去1年間に健康診断を受けた40歳～74歳の者の数 **同調査の40歳～74歳の対象者数	
初期・安定期治療	高血圧性疾患患者の年齢調整外来受療率		215.3	201.1	-	-	-	-	-	-	患者調査	令和2年 (3年毎)	傷病大分類「高血圧性疾患」の都道府県別受療率を標準人口で補正した値	
初期・安定期治療 専門治療 急性増悪時治療 慢性合併症治療	年齢調整死亡率		糖尿病による年齢調整死亡率(男性)	5.5	4.0	-	-	-	-	-	都道府県別年齢調整死亡率(業務・加工統計)	平成27年 (5年毎)		
			糖尿病による年齢調整死亡率(女性)	2.5	2.3	-	-	-	-	-				-
専門治療 急性増悪時治療	糖尿病を専門とする医療従事者数		糖尿病専門医数	6,777	188	-	-	-	-	-	日本糖尿病学会	令和5年8月 時点	日本糖尿病学会により認定された糖尿病専門医数	
			人口10万人対	5.4	7.3	-	-	-	-	-			-	日本糖尿病療養指導士認定機構により認定された指導士数
			糖尿病指導士数		415	-	-	-	-	-			-	日本看護協会により認定された糖尿病看護認定看護師数
			人口10万人対		16.1	-	-	-	-	-			-	
			糖尿病看護師数	745	14	-	-	-	-	-			-	
			人口10万人対	0.6	0.5	-	-	-	-	-			-	
合併症予防を含む専門治療	腎臓専門医数			6,201	184	-	-	-	-	-	腎臓専門医県別人数(日本腎臓学会HP)	令和5年7月3 日現在	日本腎臓学会により認定された専門医数	
			人口10万人対	4.9	7.1	-	-	-	-	-				-
合併症予防を含む専門治療	糖尿病登録医/療養指導医		糖尿病登録医	1,243	29	-	-	-	-	-	糖尿病登録医/療養指導医の状況(日本糖尿病協会HP)	令和5年8月 時点	日本糖尿病協会による、登録医/療養指導医の状況	
			人口10万人対	1.0	1.1	-	-	-	-	-				-
合併症予防を含む専門治療	糖尿病透析予防指導の実施件数		算定回数	116,283	1,427	-	-	-	-	-	NDB	令和3年	B00127 糖尿病透析予防指導管理料の算定件数	
			人口10万人対	92.2	55.4	-	-	-	-	-				-
専門治療 急性増悪時治療 慢性合併症治療	退院患者平均在院日数		30.6	27.4	-	-	-	-	-	-	患者調査	令和2年 (3年毎)	傷病分類「糖尿病」の退院患者平均在院日数	
慢性合併症治療	歯周病専門医の在籍する歯科医療機関数				-	-	-	-	-	-	日本歯周病学会	R4	日本歯周病学会の歯周病専門医一覧で把握される医療機関数	
合併症治療	糖尿病登録歯科医師数			2,330.0	47.0	-	-	-	-	-	糖尿病登録歯科医師の認定状況(日本糖尿病協会HP)	平成29年6月	日本糖尿病協会が認定した歯科医師数	
			人口10万人対	1.8	1.8	-	-	-	-	-				-

精神疾患及び認知症の医療提供体制構築に係る現状把握のための指標例

病期	指標名		全国	京都府	二次医療圏						調査名等	調査年 (調査周期)	定義	
					丹後	中丹	南丹	京都・乙訓	山城北	山城南				
					人口(千)	125,927.90	2,511.49	92.52	188.45	131.62				1,543.53
予防・アクセス (うつ病を含む)	かかりつけ医等心の健康対応 力向上研修参加者数	かかりつけ医等心の健康対応力向上研修の開催回数	68	2	-	-	-	-	-	-	精神科救急医療体制整備事業報告	令和4年度		
		かかりつけ医等心の健康対応力向上研修の参加者数	2,940	59	-	-	-	-	-	-				
予防・アクセス (うつ病を含む)	GP連携会議の開催地域数、及 び紹介システム構築地区数	GP連携会議の開催地域数	110	0	-	-	-	-	-	-	精神科救急医療体制整備事業報告	平成23年度 (単年度)		
		紹介システム構築地区数	17	0	-	-	-	-	-	-				
予防・アクセス (うつ病を含む)	かかりつけ医認知症対応力向上研修参加者数		72,299	2,480	-	-	-	-	-	-	新オレンジプラン	令和3年度末		
	人口10万対		37.3	50.4	-	-	-	-	-	-				
予防・アクセス (うつ病を含む)	認知症サポート医養成研修修了者数		12,370	221	-	-	-	-	-	-	新オレンジプラン	令和3年度末		
	人口10万対		4.0	3.0	-	-	-	-	-	-				
予防・アクセス (うつ病を含む)	保健所及び市町村が実施した精神保健福祉相談等の被指導実人員・延人員	実人員	413,425	4,483	-	-	-	-	-	-	地域保健・健康増進事業報告	令和3年度 (毎年)	表番号05100、5(1)精神保健福祉(相談等)相談の実人員	
		延人員	1,117,740	10,546	-	-	-	-	-	-			表番号05100、5(1)精神保健福祉(相談等)相談の延人員	
予防・アクセス (うつ病を含む)	精神保健福祉センターにおける 相談等の活動	精神保健福祉センターにおける相談	実人員	19,416	305	-	-	-	-	-	衛生行政報告例	令和3年度 (毎年)	報告表第6精神保健福祉センターにおける相談等 相談の実人員、延人員	
			延人員	101,656	782	-	-	-	-	-			-	
		精神保健福祉センターにおける普及啓発 「地域住民への講演、交流会」	開催回数	533	14	-	-	-	-	-			-	報告表第6精神保健福祉センターにおける相談等 普及啓発「地域住民への講演、交流会」の開催回数、延人員
			延人員	57,454	664	-	-	-	-	-			-	
予防・アクセス (うつ病を含む)	保健所及び市町村が実施した精神保健福祉訪問指導の被指導実人員・延人員	実人員	138,055	1,763	-	-	-	-	-	-	地域保健・健康増進事業報告	令和3年度 (毎年)	表番号05100、5(1)精神保健福祉(相談等)訪問指導の実人員、延人員	
		延人員	346,498	3,972	-	-	-	-	-	-				
予防・アクセス (うつ病を含む)	精神保健福祉センターにおける訪問指導の実人員・延人員	実人員	2,465	2	-	-	-	-	-	-	衛生行政報告例	令和3年度 (毎年)	報告表第6精神保健福祉センターにおける相談等 訪問指導の実人員、延人員	
		延人員	10,384	2	-	-	-	-	-	-				
予防・アクセス (うつ病を含む)	こころの状態	日常生活における悩みやストレスの有無「有」	51,430	1,090	-	-	-	-	-	-	国民生活基礎調査	令和元年度 *大規模 (3年毎)	健康票 質問9 日常生活における悩みやストレスの有無、その原因	
		日常生活における悩みやストレスの原因	原因ごとの集計値、割合あり		-	-	-	-	-	-				
予防・アクセス (うつ病を含む) 治療・回復・社会復帰 (うつ病を含む) 精神科救急・身体合併症・ 専門医療	自殺死亡率(人口10万あたり)		16.5	15.5	-	-	-	-	-	-	人口動態調査	令和3年度 (毎年)	死亡票(14)死亡の原因 死亡者数	
治療・回復・社会復帰 (うつ病を含む)	精神科を標榜する病院・診療所 数、精神科病院数	精神科を標榜する病院数	2,822	51	3	6	5	30	7	-	医療施設調査	令和2年度 (3年毎)	病院票(8)診療科目で、「精神科」を標榜している施設数	
		人口10万人対	2.2	2.0	3.2	3.2	3.8	1.9	1.6	-				
		精神科を標榜する診療所数	7,196	189	1	9	9	146	19	5	医療施設調査	令和2年度 (3年毎)	一般診療所票(7)診療科目で、「精神科」を標榜している施設数	
		人口10万人対	5.7	7.5	1.1	4.8	6.8	9.5	4.4	4.0				
		精神科病院数	1,059	11	-	2	-	8	1	-	医療施設調査	令和2年度 (3年毎)	病院票(5)許可病床数で「精神病床」のみを有する施設数	
		人口10万人対	0.8	0.4	-	1.1	-	0.5	0.2	-				
治療・回復・社会復帰 (うつ病を含む)	精神科病院の従事者数	精神科病院の従事者(医師)数	9,908.3	135.8	-	-	-	-	-	-	医療施設調査	令和2年度 (3年毎)	病院票(38)従事者数 医師数	
		人口10万人対	7.9	5.4	-	-	-	-	-	-				
治療・回復・社会復帰 (うつ病を含む)	往診・訪問診療を提供する精神 科病院・診療所数	往診・訪問診療精神科病院数	701	12	2	-	2	7	1	-	医療施設調査	平成26年 (3年毎)	病院票(8)診療科目のうち「精神科」を標榜する施設の中で、(27)在宅医療サービスの実施状況の医療保険等による在宅サービスで、「往診」又は「在宅患者訪問診療」を行う施設数	
		人口10万人対	0.6	0.5	1.9	-	1.4	0.4	0.2	-				
		往診・訪問診療一般診療所数	1,269	42	1	2	4	31	3	1			一般診療所票(8)診療科目のうち「精神科」を標榜する施設の中で、(23)在宅医療サービス実施状況の医療保険等による在宅サービスで、「往診」又は「在宅患者訪問診療」を行う施設数	
		人口10万人対	1.0	1.6	1.0	1.0	2.8	2.0	0.7	0.8				

精神疾患及び認知症の医療提供体制構築に係る現状把握のための指標例

病期	指標名		全国	京都府	二次医療圏						調査名等	調査年 (調査周期)	定義
					丹後	中丹	南丹	京都・乙訓	山城北	山城南			
					人口(千)								
治療・回復・社会復帰 (うつ病を含む)	精神科訪問看護を提供する病院・診療所数	精神科訪問看護を提供する病院数	729	10	2	1	1	5	1	-	医療施設調査	令和2年度 (3年毎)	病院票(27)在宅医療サービスの実施状況の医療保険等による在宅サービス実施施設数のうち、「精神科在宅患者訪問看護・指導」を行う施設数
		人口10万人対	0.6	0.4	2.2	0.5	0.8	0.3	0.2	-			
		精神科訪問看護を提供する一般診療所数	477	15	-	1	2	11	1	-			
		人口10万人対	0.4	0.6	-	0.5	1.5	0.7	0.2	-			
治療・回復・社会復帰 (うつ病を含む)	精神科地域移行実施加算	届け出施設数	374	3	0	1	0	0	2	0	施設基準の届出受理状況	令和5年4月	精神科地域移行実施加算の届け出施設数
治療・回復・社会復帰 (うつ病を含む)	非定型抗精神病薬加算1 (2種類以下)	算定回数	15,004,387	134,855	-	-	-	79,830	-	-	NDB	令和2年度	下記の非定型抗精神病薬加算(2種類以下)の算定件数・レセプト件数(集計対象) A311-00:非定型抗精神病薬加算(2種類以下)(精神科救急入院料) A311-02:非定型抗精神病薬加算(2種類以下)(精神科急性期治療病棟入院料) A311-03:非定型抗精神病薬加算(2種類以下)(精神科救急・合併症入院料) A312-00:非定型抗精神病薬加算(2種類以下)(精神科療養病棟入院料)
		レセプト件数	530,828	938	0	805	0	3,533	1,291	0			
		人口10万人対	421.5	218.2	0.0	396.4	0.0	225.1	291.3	0.0			
治療・回復・社会復帰 (うつ病を含む)	精神障害者社会復帰施設等の利用実人員数	入所系	14,774	113	-	-	-	-	-	-	精神保健福祉資料	平成24年	6. 精神障害者が利用する施設等の状況【入所サービス系】 (4)定員・利用実人員数 平成24年6月30日現在の利用実人員数 合計 7. 精神障害者が利用する施設等の状況【通所サービス系】 (4)定員・利用実人員数・施設稼働日数 平成24年6月30日現在の利用実人員数 合計
		通所系	78,697	793	-	-	-	-	-	-			
治療・回復・社会復帰 (うつ病を含む)	精神障害者手帳交付数	報告表 第5 精神障害者保健福祉手帳交付台帳登録数 前年度末現在	1,202,783	27,120	-	-	-	-	-	-	衛生行政報告例	令和3年度 (毎年)	報告表 第5 精神障害者保健福祉手帳交付台帳登録数
治療・回復・社会復帰 (うつ病を含む)	精神科デイ・ケア等の利用者数	延べ利用者数	658,636	9,818	-	-	-	-	-	-	精神保健福祉資料	平成25年 (毎年)	8. 精神科デイ・ケア等の状況 (2)精神科デイ・ケア等の状況① 精神科デイ・ケア 延利用者数、利用実人員
		利用実人員	78,252	1,285	-	-	-	-	-	-			
治療・回復・社会復帰 (うつ病を含む)	精神科訪問看護の利用者数	精神病床を有する医療機関	48,139	531	-	20	-	483	28	-	精神保健福祉資料	令和3年度	訪問看護 1. 訪問看護実施施設数・利用者数概況 B. 精神科訪問看護の利用者の実人数合計 「精神科訪問看護・指導料ⅠまたはⅢ」の算定実人数
		精神病床を有しない医療機関	10,736	209	-	40	29	132	8	-			
治療・回復・社会復帰 (うつ病を含む) 精神科救急・身体合併症・ 専門医療	1年未満入院者の平均退院率		82.4	87.0	-	-	-	-	-	-	精神保健福祉資料	令和3年度	医療機関票 診療実績 専門外来 届出状況 医療保護入院の1年間転帰
治療・回復・社会復帰 (うつ病を含む) 精神科救急・身体合併症・ 専門医療	在院期間5年以上かつ65歳以上の退院患者数		2,538	54	-	-	-	-	-	-	精神保健福祉資料	平成25年	3. 精神科病院入退院患者等の状況 (7)平成24年6月退院患者数(年齢階級×在院1年達否)
治療・回復・社会復帰 (うつ病を含む) 精神科救急・身体合併症・ 専門医療	3ヶ月以内再入院率		17.0	17.0	-	-	-	-	-	-	精神保健福祉資料	平成29年度	アウトカム指標 精神病床における退院後3ヵ月時点の再入院率(1年未満入院患者)
治療・回復・社会復帰 (うつ病を含む) 精神科救急・身体合併症・ 専門医療	退院患者平均在院日数	精神及び行動障害退院患者平均在院日数	269.9	351.5	14.0	1,032.6	6,605.4	193.9	222.0	3.7	患者調査	令和2年度 (3年毎)	傷病分類「精神及び行動の障害」の病院の退院患者平均在院日数
精神科救急	精神科救急医療施設数		1,105	17	-	-	-	-	-	-	精神科救急医療体制整備事業報告	令和2年度	
		人口10万人対	0.9	0.7	-	-	-	-	-	-			
精神科救急	精神医療相談窓口及び精神科救急情報センターの開設状況	精神医療相談窓口の開設状況	-	開設	-	-	-	-	-	-	精神科救急医療体制整備事業報告	令和2年度	
		精神科救急情報センターの窓口開設状況	-	開設	-	-	-	-	-	-			

精神疾患及び認知症の医療提供体制構築に係る現状把握のための指標例

病期	指標名	人口(千)	全国	京都府	二次医療圏						調査名等	調査年 (調査周期)	定義
					丹後	中丹	南丹	京都・乙訓	山城北	山城南			
精神科救急	精神科救急急性期医療入院料・精神科急性期治療病棟入院料届出施設数	精神科救急急性期医療入院料の届出施設数	176	4	-	1	-	1	2	-	施設基準の届出受理状況	令和5年4月	精神科救急急性期医療入院料の届出施設数
		人口10万人対	0.1	0.2	-	0.5	-	0.1	0.5	-			精神科急性期治療病棟入院料1の届出施設数
		精神科急性期治療病棟入院料1届出施設数	364	8	-	-	-	6	2	-			精神科急性期治療病棟入院料2の届出施設数
		人口10万人対	0.3	0.3	-	-	-	0.4	0.5	-			
		精神科急性期治療病棟入院料2届出施設数	8	0	-	-	-	-	-	-			
		人口10万人対	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-			
精神科救急	精神科救急医療体制を有する病院・診療所数	病院数 病院票(17)救急医療体制で、「精神科救急医療体制」有の施設数	1,065	16	-	-	-	-	-	-	医療施設調査	令和2年 (3年毎)	病院票(15)救急医療体制で、「精神科救急医療体制」有の施設数
		人口10万人対	0.8	0.6	-	-	-	-	-	-			一般診療所票(14)救急医療体制で、「精神科救急医療体制」有の施設数
		診療所数	243	0	-	-	-	-	-	-			
		人口10万人対	0.2	0.0	-	-	-	-	-	-			
精神科救急・身体合併症・専門医療	類型別認知症疾患医療センター数	類型別認知症疾患医療センター数(1:基幹型)	17	1	-	-	-	-	-	-	認知症疾患医療センターの整備方針に関する調査研究事業	令和4年3月 現在	京都市指定含む
		人口10万人対	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-			
		類型別認知症疾患医療センター数(2:地域型)	384	8	-	-	-	-	-	-			
		人口10万人対	0.3	0.3	-	-	-	-	-	-			
		類型別認知症疾患医療センター数(3:診療所型)	87	0	-	-	-	-	-	-			
人口10万人対	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-					
精神科救急	精神科救急医療機関の夜間・休日の受診件数、入院件数	精神科救急医療機関の夜間・休日の受診件数	33,203	633	-	-	-	-	-	-	精神科救急医療体制整備事業報告	令和2年度	
		精神科救急医療機関の夜間・休日の入院件数	16,442	315	-	-	-	-	-	-			
精神科救急	精神科救急情報センターへの相談件数	精神科救急情報センターへの相談件数 合計	70,836	2,571	-	-	-	-	-	-	精神科救急医療体制整備事業報告	令和2年度	
精神科救急	年間措置患者・医療保護入院患者数	年間措置患者数	7,408	68	-	-	-	-	-	-	衛生行政報告例	令和3年度 (毎年)	報告表 第2 精神障害者措置入院・仮退院状況 の『本年度中新規患者数』
		人口10万人対	5.9	2.7	-	-	-	-	-	-			報告表 第3 医療保護入院・応急入院及び移送による入院届出状況 の『医療保護入院届出数』を人口10万あたりに換算 ※指定医診察、特定医師診察の合算
		年間医療保護入院患者数	185,145	3,596	-	-	-	-	-	-			
		人口10万人対	147.0	143.2	-	-	-	-	-	-			
精神科救急	保護室の隔離、身体拘束の実施患者数	保護室の隔離の実施患者数	9,883	115	-	-	-	-	-	-	精神保健福祉資料	平成25年度 (毎年)	2. 精神科病院在院患者の状況 (3) 保護室隔離・身体的拘束の患者数(入院形態別)
		身体拘束の実施患者数	10,229	107	-	-	-	-	-	-			
身体合併症	精神科救急・合併症対応施設数		21	1	-	-	-	-	-	-	精神科救急医療体制整備事業報告	令和2年度	精神科救急医療施設数のうち身体合併症対応病院数
		人口10万人対	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-			
身体合併症	救命救急センターで「精神科」を有する施設数		259	5	-	-	-	-	-	-	医療施設調査	令和2年度 (3年毎)	病院票(8)診療科目「精神科」を標榜している施設で、(15)救急医療体制で「救命救急センター」の施設数
		人口10万人対	0.2	0.2	-	-	-	-	-	-			
身体合併症	入院を要する救急医療体制で「精神科」を有する施設数		1,126	30	-	-	-	-	-	-	医療施設調査	令和2年度 (3年毎)	病院票(8)診療科目「精神科」を標榜している施設で、(15)救急医療体制で「二次(入院を要する救急医療施設)」の数
		人口10万人対	0.9	1.2	-	-	-	-	-	-			
身体合併症	精神病床を有する一般病院数		1,622	20	-	-	-	-	-	-	医療施設調査	令和2年度 (3年毎)	病院票(5)許可病床数等で、「精神病床」を有する施設数
		人口10万人対	1.3	0.8	-	-	-	-	-	-			



精神疾患及び認知症の医療提供体制構築に係る現状把握のための指標例

病期	指標名		全国	京都府	二次医療圏						調査名等	調査年 (調査周期)	定義
					丹後	中丹	南丹	京都・乙訓	山城北	山城南			
					人口(千)								
身体合併症	副傷病に精神疾患を有する患者の割合	副傷病に精神疾患を有する病院の推計入院患者数(単位:千人)	236.6	3.6	0.0	0.6	0.1	2.4	0.5	0.0	患者調査	令和2年度 (3年毎)	病院入院(奇数)票(5)副傷病に精神疾患を有する病院の推計入院患者数
		病院の推計入院患者数(単位:千人)	1,211.3	24.6	0.9	2.3	1.1	15.8	3.9	0.4			
		副傷病に精神疾患を有する病院の入院患者の割合	19.5	14.6	0.0	26.1	9.1	15.2	12.8	0.0			
		副傷病に精神疾患を有する病院の推計外来患者数(単位:千人)	266.6	7.2	-	-	-	-	-	-			-
		病院の推計外来患者数(単位:千人)	7,137.5	128.7	-	-	-	-	-	-			-
		副傷病に精神疾患を有する病院の外来患者の割合	3.7	5.6	-	-	-	-	-	-			-
身体合併症	精神科身体合併症管理加算	算定回数	330,599	7,667	-	-	-	5,477	-	-	NDB	令和2年度	A230-31:精神科身体合併症管理加算(7日以内)の算定件数・レセプト件数
		レセプト件数	56,539	1,092	0	113	0	712	267	0			
		人口10万人対	44.9	42.3	0.0	55.6	0.0	45.4	60.2	0.0			
専門医療	児童思春期精神科入院医療管理加算届出医療機関数	20歳未満10万対	47	-	-	-	-	-	-	-	施設基準の届出受理状況	令和5年4月	児童思春期精神科入院医療管理加算届出施設数
		小児入院医療管理料5届出医療機関数	164	6	-	0	-	2	4	-			
専門医療	小児入院医療管理料5届出医療機関数	小児10万対	1.1	2.0	-	0.0	-	1.1	7.6	-	施設基準の届出受理状況	令和5年4月	小児入院医療管理料5の届出施設数
		依存症入院医療管理加算届出医療機関数	275	3	-	1	-	2	-	-			
専門医療	依存症入院医療管理加算届出医療機関数	人口10万人対	0.2	0.1	-	0.5	-	0.1	-	-	施設基準の届出受理状況	令和5年4月	依存症入院医療管理加算届出施設数
		医療観察法指定通院病院数	603	6	-	-	-	-	-	-			
専門医療	医療観察法指定通院医療機関数	人口10万人対	0.5	0.2	-	-	-	-	-	-	厚生労働省HP	令和5年4月	
		医療観察法指定通院一般診療所数	94	3	-	-	-	-	-	-			
		人口10万人対	0.1	0.1	-	-	-	-	-	-			
		算定回数	1,308,571	25,389	-	1,283	900	19,875	2,842	-			
専門医療	在宅通院精神療法の20歳未満加算	レセプト件数	846,030	14,510	72	774	671	10,875	2,118	-	NDB	令和2年度	I002-00:通院・在宅精神療法(20歳未満)加算の算定件数・レセプト件数
		人口10万人対	671.8	562.6	69.5	381.1	477.5	692.9	477.9	-			

## データ集（難病、原爆被爆者、移植対策等）

### 難病対策

#### ○対象疾病

特定疾患 治療研究事業	難病法						
	～H26.12.31	H27.1.1	H27.7.1	H29.4.1	H30.4.1	R1.7.1	R3.11.1
56	110	306	330	331	333	338	341

#### ○受給者数（指定難病・特定疾患）※各年度3月31日時点 ※京都市分は参考値として掲載

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
特定疾患	51人	41人	41人	39人	39人	35人	31人
指定難病	23,545人	19,635人	20,562人 府：8,782人 市：11,780人	21,013人 府：9,031人 市：11,982人	22,663人 府：9,884人 市：12,779人	22,429人 府：9,560人 市：12,869人	23,342人 府：9,717人 市：13,625人
計	23,596人	19,676人	20,603人	21,052人	22,702人	22,464人	23,377人

#### ○指定医・指定医療機関数 ※各年度3月31日時点 ※京都市分は参考値として掲載

年度		H29	H30	R1	R2	R3	R4
指定医	難病指定医	3,965	府 927 市 2,166	府 997 市 2,558	府 1,024 市 2,580	府 1,046 市 2,649	府 1,071 市 2,675
	協力難病指定医	221	府 62 市 103	府 65 市 105	府 67 市 109	府 72 市 112	府 75 市 112
指定医療機関	病院・診療所	1,507	府 573 市 1,008	府 534 市 1,028	府 553 市 973	府 566 市 997	府 578 市 1,031
	調剤薬局	1,029	府 410 市 657	府 379 市 661	府 397 市 647	府 406 市 670	府 423 市 681
	訪問看護ステーション	264	府 107 市 166	府 103 市 191	府 113 市 206	府 127 市 230	府 135 市 257

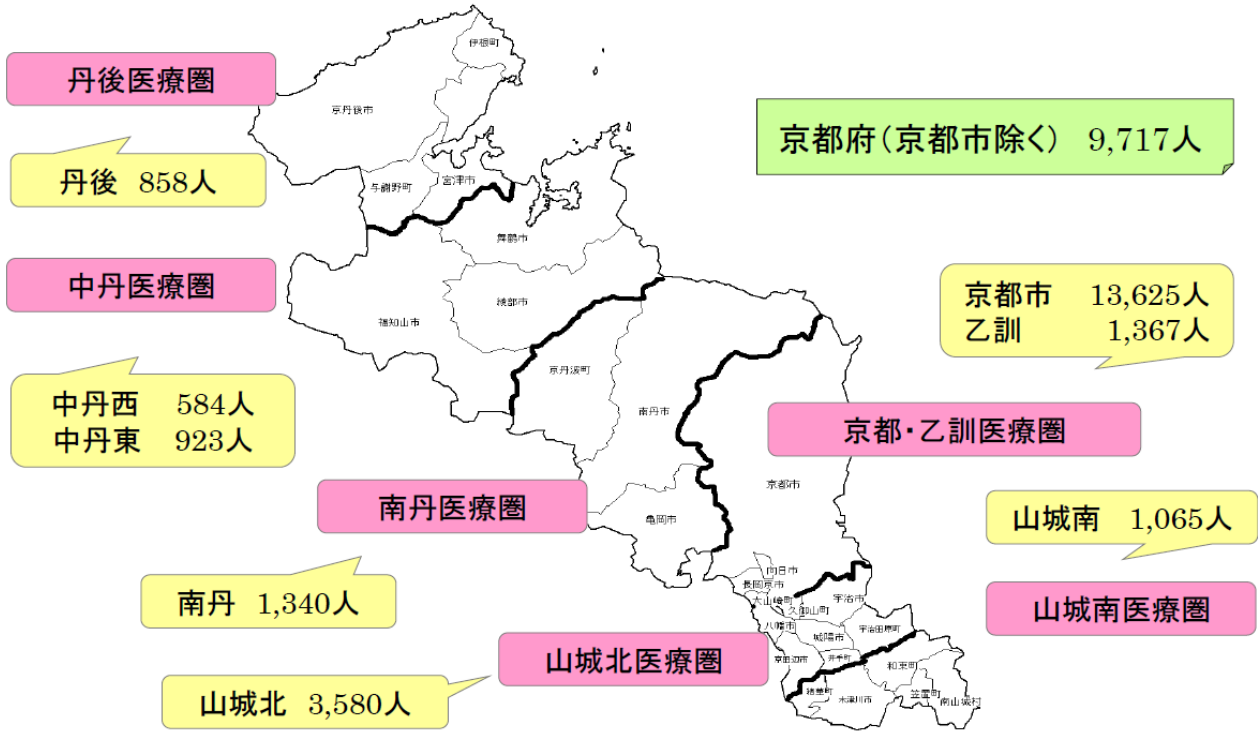
#### ○決算額

（千円）

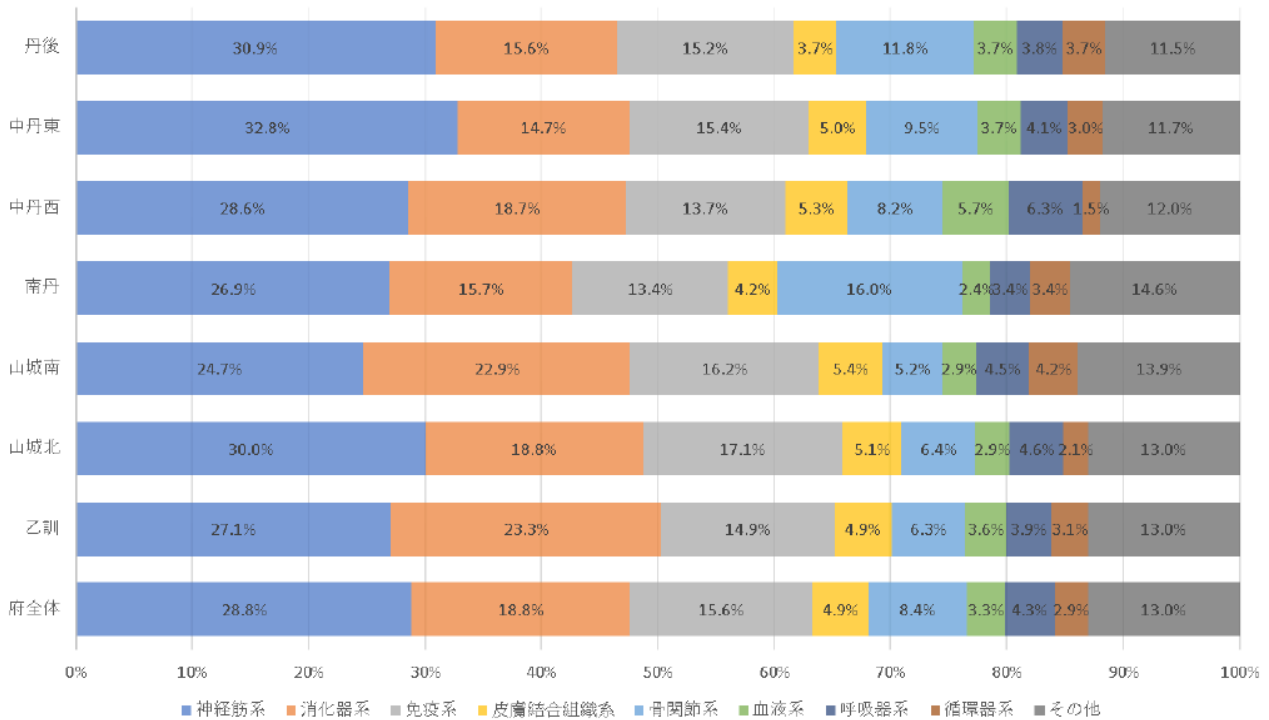
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
医療費助成	3,412,255	3,684,507	1,870,887	1,630,955	1,687,131	1,792,997	1,815,282
国庫（交付率）	1,711,244 （50%）	1,846,589 （50%）	938,149 （50%）	817,172 （50%）	846,825 （50%）	879,220 （50%）	904,113 （50%）
府費	1,701,011	1,837,918	932,738	813,783	840,306	913,777	911,169

# 京都府の指定難病受給者数(※実人数)

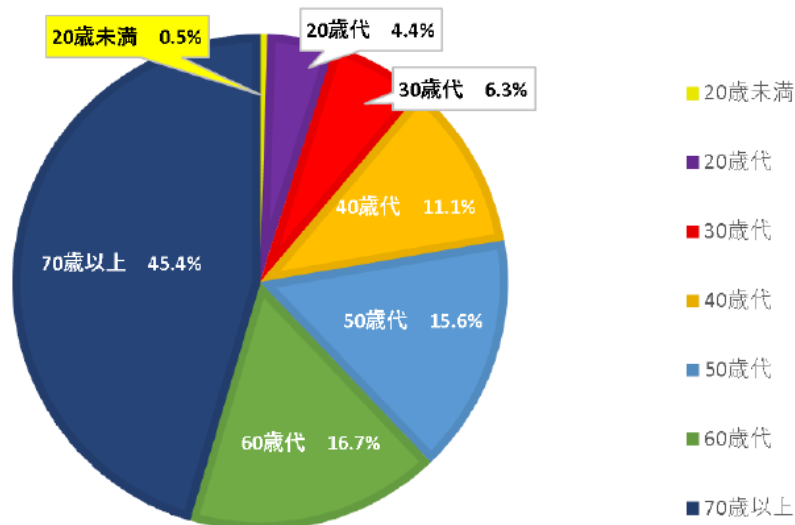
(R4年度末: 23,342人)



## 京都府の保健所ごとの疾患系別割合 (※実人数/京都市除く)



## 京都府における指定難病受給者の年齢構成



R5.3.31時点: 認定件数9,941件の内訳  
(※認定件数/京都市除く)

### ○療養生活支援（保健所を中心とした活動）

	R1	R2	R3	R4
医師等による相談（所内）	15回 53名	15回 60名	7回 52名	10回 36名
医師等による相談（訪問）	11回 12名	3回 4名	2回 2名	—
難病患者家族交流会・講演会	23回 224名	7回 79名	3回 41名	4回 65名
従事者研修	10回 518名	2回 65名	2回 25名	2回 38名
保健師による家庭訪問	792件	430件	294件	326件
保健師による新規申請時面接	1,237件	1,347件	945件	782件
在宅療養支援評価事業	194件	176件	38件	52件

### ○難病診療連携拠点病院 活動実績

#### ・難病相談件数

R1	R2	R3	R4
137件	398件	358件	394件

#### ・相談者内訳（R4）

医療機関等 （京都市内）	医療機関等（京都 府内）	医療機関等（他府 県）	患者	家族
18件	1件	1件	204件	170件

#### ・難病に係る医療従事者等研修会 年1回開催

○医療従事者等研修（難病診療連携拠点病院（宇多野病院）、京都市と共催）

	R1	R2	R3	R4
上記研修の延受講者数	273名	中止	中止	340名

※令和2年度及び3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

○難病患者等ホームヘルパー養成研修事業

年度		R1	R2	R3	R4
修了者数	I	40名	中止	31名	12名
	II	22名	中止	中止	中止

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

○在宅重症難病患者入院受入体制整備事業（一時入院）

	R1	R2	R3	R4
延利用者数	98名 (実27名)	47名 (実14名)	34名 (実14名)	28名 (実9名)
利用日数	652日	327日	337日	239日

○在宅難病患者等療養生活用機器貸出事業

	R1	R2	R3	R4
貸出人数	58名	48名	38名	34名
貸出日数	2,325日	1,875日	1,653日	1,608日

○京都難病・相談支援センター 活動実績

	R元	R2	R3	R4
相談支援	543件	405件	454件	564件
就労支援	21件	15件	13件	延25件
自主組織活動支援	延15回	延3回	延2回	延5回
ボランティア育成	登録33名 活動延27名	登録26名 活動延3名	登録18名 活動延2名	登録30名 活動0名
講演会、研修会	5回	1回	1回	4回
療養機器の貸出	延58名 延2,325日	延48名 延1,875日	延38名 延1,653日	延34名 延1,875日
広報誌の発行	2回	3回	2回	1回
難病ネットワーク支援	延16回	延4回	0回	延5回

## 小児慢性特定疾病対策

### ○医療費助成

	患児数	認定件数	当初予算額	決算額
R元年度実績	1,348人 (21人)	1,524件 (21件)	290,940千円	302,404千円
R2年度実績	1,331人 (14人)	1,514件 (14件)	291,205千円	310,960千円
R3年度実績	1,281人 (16人)	1,307件 (16件)	314,316千円	323,383千円
R4年度実績	1,227人 (10人)	1,287件 (10件)	324,365千円	278,550千円
R5年度予算	1,200人(6人) (見込み)	1,230件(6件) (見込み)	314,037千円	—

※患児数、認定件数の()内は府制度分

### ○指定医の指定件数 188件 (R5.5.1現在)

### ○指定医療機関の指定件数 629件 (R5.5.1現在)

病院・診療所 152件 (病院 37件、診療所 115件)

薬局 405件

訪問看護事業者 72件

### ○小児慢性特定疾病児童等家庭支援事業

日常生活に必要な用具(車椅子、電気式たん吸引器等)の購入費用を助成

	市町村数	当初予算額	決算額
R2年度実績	9件	670千円	702千円
R3年度実績	8件	750千円	450千円
R4年度実績	9件	800千円	597千円
R5年度予算	10件(見込み)	640千円	—

日常生活に必要な医療用具(アンビユーパック等)の購入費用を助成

	患児数	当初予算額	決算額
R2年度実績	0件	0千円	0千円
R3年度実績	2件	0千円	130千円
R4年度実績	0件	0千円	0千円
R5年度予算	3件(見込み)	0千円	—

<自立支援事業>

○相談支援事業

保健師による訪問や個別支援会議、医師等による相談受付等の相談支援事業

	R 2 年度		R 3 年度		R 4 年度	
	実回数	延回数	実回数	延回数	実回数	延回数
面接、電話、訪問による相談支援	172	380	253	350	274	447
個別支援会議	13	20	13	17	15	20

○自立を支援する相談機能の充実（自立支援員の配置）

自立等を支援する相談窓口（電話相談、保健師1名）を設置

相談人数	R 2 年度		R 3 年度		R 4 年度	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
	12	18	8	10	4	5

○相互交流支援事業

慢性疾病児等の相互交流によるコミュニケーション能力の向上、育ちと自立を促進

回数／参加人数	R 2 年度		R 3 年度		R 4 年度	
	実回数	延人数	実回数	延人数	実回数	延人数
	1	3	1	5	4	11

○介護者支援事業（長期療養児家庭支援事業）

長期入院を必要とする子どもの保護者に対し、宿泊代金の一部を助成（1泊2,000円）

利用人数	R 2 年度		R 3 年度		R 4 年度	
	実回数	延回数	実回数	延回数	実回数	延回数
	1	2	0	0	0	0

○その他の自立支援事業（学習支援事業）

疾病等により長期入院又は入退院を繰り返す生徒、退院後も引き続き治療や生活制限により自宅療養を要する生徒に対し、同時双方向型遠隔教育を実施（R5年度～、府教委事業）

（参考）小児慢性特定疾病児童等学習支援事業（H28～R4年度）（当課事業）

- ・府立高校に在籍する小慢生徒が入院する病院等へ学習サポーター（在籍校の非常勤講師等）を派遣（府教委と共同実施）
- ・事業実績：H28年度（2件）及びH29年度（1件）の合計3件

## 原爆被爆者対策

○府内被爆者の状況

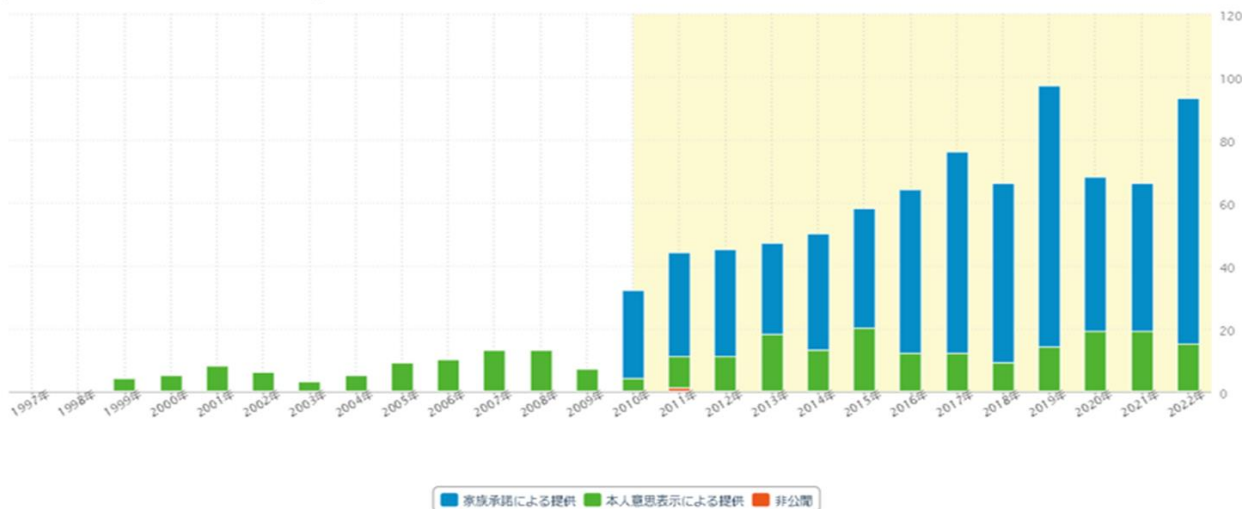
	(被爆者数)	(平均年齢)	
平成 27 年度	1 0 2 0 (人)	7 9 . 4 4 (歳)	
平成 28 年度	9 8 6	8 0 . 2 8	
平成 29 年度	9 2 7	8 0 . 8 8	
平成 30 年度	8 9 4	8 1 . 6 4	
令和 元年度	8 4 9	8 2 . 2 8	
令和 2 年度	7 8 9	8 2 . 8 1	
令和 3 年度	7 4 4	8 2 . 8 1	
令和 4 年度	6 9 8	8 4 . 1 3	※各年度 3 月末時点



## 臓器移植等の推進

○脳死下臓器提供の推移と意思表示（日本臓器移植ネットワークホームページより引用）

（1997年10月16日～2022年12月31日 889件）



○1999年から2022年12月31日までの本人の意思表示による提供：259件

○改正法施行後（2010年7月17日）の家族承諾による提供：629件

○世界の臓器提供数（100万人当たりのドナー数）

（日本臓器移植ネットワークホームページより一部加工して引用）



○「臓器提供に関する意思表示アンケート」（R1.9）（京都府実施、府民約6,000人を対象）

①臓器提供の意思表示について

- ・ 意思表示をしている 20.4%
- ・ 意思表示方法を知っているが記入していない 59.2%
- ・ 意思表示方法を知らない 20.4%

②現在の臓器提供に関する意思について

- ・ 脳死及び心停止どちらでも提供する 30.5%
- ・ 心停止に限り提供する 19.2%
- ・ 臓器を提供しない 50.3%

○改正法施行前・施行後の脳死下の臓器移植件数（2023年5月26日時点）

	改正法施行前(a)	年平均(1999~2010)	改正法施行後(b)	年平均(2010~22)	2023年(前年比)	計(a+b)
全 国	86	7.8	871	64.0	61 (▲32)	957
京都府	29	2.6	324	24.1	18 (▲17)	353

○京都府内の脳死下の臓器移植件数（臓器別） 単位：人 （前年比）（2023年5月26日時点）

病院	臓器				計
	肺	肝臓	腎臓	その他	
計	13 (▲10)	4 (▲2)	1 (▲5)	0(▲4)	18 (▲17)

・全国17人の臓器提供から、府内医療機関の18人へ臓器移植※

・移植を受けた人の居住地は不明（非公開）

・5月26日時点の数値

・前年移植を受けた35人中4人は複数臓器を同時移植したため、  
人単位にまとめてカウント

※同一人物からの提供のため人数にずれ

（参考）脳死下の臓器移植件数の推移

年	全 国	京都府
1999 ～	86	29
2010 (法改正前)		
2010 (法改正後)	29	13
2011	44	17
2012	45	13
2013	47	17
2014	51	20
2015	58	23
2016	64	24
2017	77	26
2018	68	26
2019	118	45
2020	62	24
2021	54	23
2022	93	35
2023	61	18
計	957	353

2023年5月26日時点

## アレルギー対策

○アレルギー患者数（単位：千人）

		平成 23 年	平成 26 年	平成 29 年	令和 2 年
結膜炎	全国	2 3 7	2 7 8	2 7 7	5 7 0
	京都	3	5	4	7
アレルギー性鼻炎	全国	5 5 7	6 6 3	6 5 8	1 6 6 6
	京都	1 3	3	2 5	2 4
喘息	全国	1 0 4 5	1 1 7 7	1 1 1 7	1 7 9 6
	京都	1 8	1 3	1 0	3 2
アトピー性皮膚炎	全国	3 6 9	4 5 6	5 1 3	1 2 5 3
	京都	1 5	2 1	9	1 9

出典：厚生労働省「患者調査」

## アスベスト

○保健所での相談件数

年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
件数	1 6	1 7	1 5	2 1	7